滿洲日報 夕刊 十月二十六日

我海軍の精鋭を集め光榮に輝く大觀艦式

大元帥陛下の御親閲を仰ぎ けふ神戸沖の偉觀

（神戸二十六日發電通）昭和五年海軍特別大演習觀艦式は今二十六日神戸沖に於ていとも盛大に擧行された、明治元年大阪港天保山沖で行はれて以來十五回目の觀艦式で參列艦艇は百六十五隻、總噸數七十萬三千噸、航空機七十二臺我が海軍の精鋭を集めた大艦隊は威風堂々茅海を壓した、此の日晩秋の氣澄み天空高く紺碧に晴れ渡つて波靜かに絶好の觀艦式日和である

盛儀 に參列の艦艇百六十四隻、空中分列の飛行機七十餘機何れも近世化學の粋を集めたるもの之降く、往年此の地で行はれた觀艦式に參列した部隊と比較して其の進歩實に著るしきもの在りと思ふ、之等は一朝有事の際は我が國防の第一線に立つ重責を擔ふもので、常事に於ては平和の保障として國權、國利の擁護に當り又通商貿易、漁業、在外邦人の保護及び海に關する幾多の調査に任じて我が

國民 の發展並に産業の増進に直接間接に貢獻してゐる事は今又贅言を要せず此の感懐を深くするにつけ吾人國民たるものは海軍を常に有效に維持するの道を講じなければならぬ事を痛感する

御召艦に天皇旗飜り 皇禮砲裡に御親閲

空には高く飛機の爆音

三日間にわたる海軍大演習を御統監、昨夜神戸港にて御召艦霧島に御假泊遊ばされた 聖上陛下には午前九時海軍樣式大元帥の御正裝にて後部中甲板御座所に隣れる將官公室に出御、御陪乘の各宮殿下を始め奉り安保海相、谷口軍令部長、大演習觀艦式指揮官山本中將、野村吳鎭守府司令長官、藤澤霧島艦長並に濱口首相以下陪觀の諸員、高橋兵庫、柴田大阪の兩知事、黑瀬神戸、關大阪の兩市長、本邦駐剳外國武官各國神戸領事等に拜謁仰付られた、かくて午前九時半いよく浮標を離れた御召艦霧島は金色眩ゆき天皇旗を檣頭高く飜へして第一艦隊より出港、南防波堤外に奉迎の第二艦隊旗艦由田中將指揮の「足柄」御先導申上げ「妙高」「那智」「羽黑」の三艦供奉して式場に向はせらる、この時觀艦式旗艦陸奥先づ皇禮砲の火蓋を切るや各艦これに續き二十一發の皇禮砲は殷々として轟き渡り濛々たる砲煙は遠く海波を壓して暫くは壯絶極まりなき光景を展開した、遙かに白煙立ちこむる洋上には東西六浬、南北三浬に亘つて戰艦陸奥、榛名、山城の戰艦を始め百六十五隻の艨艟が滿艦飾を施し七列の艦列を布いて御親閲をお待ち申し上げてゐる、やがて御召艦が白浪を蹴立てゝ式場に入れば陛下には便殿を出御「君ケ代」奏樂裡に山本指揮官の御先導にて前艦橋の玉座に立たせ給ひ御召艦は第一列「陸奥」第二列「赤城」兩艦の間を東航し東端で左轉、更に左轉して第五列と第六列の間を逆航、近づくに陛下には各艦を仔細に御親閲あらせられ山本指揮官御說明申上ぐ、この間各艦は御召艦の近づくにつれ一發又一發皇禮砲を發射し「君ケ代」を吹奏して全艦員「萬歲」を奉唱する、この頃大阪沖より飛行機七十二臺が編隊で飛來翩翻を列れて式場上空に果壯極まりなき空中分列式を行ひ空の爆音と海の砲聲、海山打ち震ふばかりの壯觀を呈した

優渥なる勅語下賜

賜饌の三艦へ御名代宮

かくて約一時間餘にして晴れの御親閲を終り御召艦列は式場に東面して「足柄」「御召艦」「妙高」「那智」「羽黑」の順で豫定の位置に投錨、陛下には御小艇の後分列部隊の司令長官以下主なる者を召されて謁を賜ひ、次いで玉座に出御、大演習に關する御講評があつて優渥なる勅語を

海軍に 下し給ひ一旦便殿に入御遊ばされたが、御食ぎの御暇もあらせられず午後零時半御召艦上に御設された賜饌場に玉歩を運ばせられ居並ぶ海陸の將星、陪觀の文官の奉迎を受けさせられつゝ正面玉座に着かせられ各皇族殿下を始め諸員に陪食仰付られ御紫色疎の外麗しく御午餐を召させられた御召艦上で賜饌の御催しがあると同時「足柄」「妙高」「赤城」各艦上でも賜饌の宴が開かれ陛下には伏見宮博恭王殿下を「足柄」へ同博義王殿下を「妙高」へ久邇宮朝融王殿下を「赤城」へそれぞれ御名代として

御差遣 遊ばされた、やがて午後一時五十分賜饌を終り陛下には便殿所に入御、御名代の三殿下は御召艦に御歸艦午後二時半御召艦「霧島」は靜かに錨をあげ第卅驅逐隊供奉して横須賀へ向け御出航この時供奉艦、參列各艦は一齊に皇禮砲を發射、各艦船は汽笛を鳴らして奉送申上げ此處に晴れの特別大演習觀艦式は目出度く終了した

義勇奉公の精神を發揮せよ

濱口首相の謹話

【神戸二十六日發電通】畏くも天皇陛下には去る十八日以來……親しく特別大演習を御統監あらせられ其の間時々天候險惡にして風濤激しく雷雨艦艇に迫ることもありしに拘らず聊かも御倦ひあらせられず終始

龍顏 麗しく晝夜の別なく……

る海軍々隊は素より一般國民に於ても大御心の存する處を拜察し必ずや一層義勇奉公の精神を發揮すべきであると信ず、惟ふに平常に在つては艦艇の多くは比較的相離れたる各地に配備せられ或は巡航の任務に就くが故に一緒に集合するは容易の事に非ず從つて演習等の場合に際し殆ど全海軍を一ケ所に集めて御親閲あらせらるゝと云ふ事は最も機宜に適せるものにして殊にロンドン條約も愈々效力發生せんとする此の際此の觀艦式を擧げさせられ給ふことは誠に意義深きものと信ず、此の觀艦式の……

注目さるゝ海軍省と大藏省の豫算交涉

補充計畫に强硬な主張を持し政治的解決に移らん

補充計畫と谷口部長の決意

【東京二十六日發電通】谷口軍令部長は補充計畫につき極めて强硬な主張を持し之が主張貫徹の爲め今次大演習を機會に前後二回に亙り聲明を發して帝國海軍國防力の缺陷を圖へ或は某々兵力を或程度迄現在より多く有するの必要を宣傳してゐることは海軍部內を擧げて殆ど全く强硬意見の風靡する處となつてゐることを表明するものである、然るに大藏省の一般海軍豫算及び補充計畫に對する査定は此の强硬論を全く無視したもので今や兩豫算は政治的解決に移らんとして居り大演習後二十七日から海軍、大藏兩省の交涉は頗る注目を惹くに至つた

きのふ霧島の艦上で海軍巨頭の秘密會議

【神戸二十五日發電通】小林海軍次官は二十五日午前八時半來神し堀軍務局長と會見、海軍一般豫算案並に補充計畫に對する大藏省の査定案を報告し之が對策につき協議したが、今回の大藏省査定案はワシントン會議後決定せる國防計畫の圓滑なる運用を妨げるものなるを以て安保海相の政治的解決に俟つ外なしと云ふに意見一致を見たので小林次官は安保海相と會見に先立ち十一時半御召艦霧島に谷口軍令部長、永野次長と會見し更に午後三時御召艦霧島神戸入港と共に陛下の御移乘後安保海相を加へて此處に秋雨深き霧島艦上に於て海軍巨頭秘密會議が開かれた、今回の大演習に依つてロンドン條約の兵力量を以てしては到底國防の安固は期し難し依つて補充計畫を貫徹せんとする谷口部長の決心は容易に動かし難く安保海相との意見一致を見るに至らずして午後七時約四時間に亙る會議を終つた模樣であるが、更に觀艦式後歸京の上海軍、大藏兩省間に折衝を續くるものと見らる

莫全權に對し强硬な訓電

支那主權を侵害する要求には應ぜられぬ

【ハルビン特電廿六日發】露支會議を際頓せしめた哈爾賓協定第四條白露部隊の解散と首領煽動者の東北四省外追放の件につき支那は實行せずとして莫電の如く二十七名と白露聯隊司令部の解散を求めたるに對し、東北政權は烏澤生氏の經過報告を聽取し左の如き訓電を莫全權に發した「政府は既に之を實行せり支那國籍を有する白露の者には總て支那主權による法律に服從せるを以て今更支那……に導くが如き要求は避けるべき筈だ」と東北政權はカラハン氏が如何に本件を要求するも支那主權を侵害する不平等的のものであれば實行しない强硬意を有してゐる

烏澤生氏赴奉 學良氏に報告

【ハルビン二十五日發電通】露支會議全權莫德惠氏の秘書烏澤生氏はモスクワより來着張學良氏へ交涉經過報告の爲め二十五日夜十一時發赴奉したが、露支兩國の何れかゞ讓歩しない時は局面の打開困難だと

各宮殿下

二艦に御乘艦

【神戸二十六日發電通】大觀艦式御陪觀の伏見宮博恭王同妃、博義王同妃、久邇宮朝融王同妃、賀陽宮恒憲王殿下には二十六日午前八時半神戸税關第三突堤御着税關及び郵船のランチに御分乘各殿下は御召艦霧島へ、妃殿下方は軍艦加賀に御移乘御陪觀あらせられた

日曜閑話

經濟生活の過渡 『豐作貧乏』不思議にあらず

天道樣は勝手でござる。去年は凶作、今年は豐作。米を喰ふ人間は變つたものでない。凶作での米騷動なら聞こへるが、豐作貧乏といふのは、おそらく神武以來の出來事であらう。

◇

天保度の飢饉のときは記者の村などでも門閥、富家に押し寄せてボツコシ（打ち毀し）といふ直接行動に出たものなることを父老から聞かされたものである。それでも江戸ッ子は違つたもので、上野の山下に行き倒れがあつたが、喰はずに死んださあつては名折れであるといふところから、口に楊子をくはへてゐたといふことである。

◇

今どき、將に餓死せんとするものに、楊子をくはへるほどの悖德味のある奴もあるまいが、とにかく今年期は腹がふくれて困るといふ奇現象。米にうらみが數々ござるといふやうなことにならう。

◇

それといふのも、經濟生活の時代相から考へれば、決して摩訶不思議なものでも何でもない。

◇

わが日本の經濟生活の基調が變遷したのである。封建時代の何萬石、何千石など、いまだ貨幣經濟時代に入らなかつたが、戊辰の御一新以來、われくの經濟生活も急速度を以て展開し來つたのである。そして世界經濟の大潮流に乘り出したものである。

◇

自給自足で滿足してゐた經濟生活が、一躍して資本主義の貨幣經濟時代となつたから、どんなに穀がされず、凶作であつたにしても數年前、ロシヤにあつたやうな飢饉などのありやうなく、併し貧乏は所在に横溢し、社會一般の常態といふことになつて來た。米ばかりを喰つて居れば腹はふくれるが、今日、われくの生活費中、米代といふものは、必ずしも主要部分を占めてゐるとはいへぬのであるから、そこに豐作貧乏といふやうな、皮肉なやうでシカも當然の經濟現象を起すに至つたものといふべきである。

◇

この春までは、やれ人口問題、食糧問題、やれ代用食の何のと騷がれたが、今度は腹一つぱい米を喰へといふのだ。まづ腹一ぱいならぬ程度で大に米食せねばならぬが、さりとて經濟生活の基調が急角度で方向轉換をやつたのであるから、米を貯藏せよ、米を喰へといふだけでは、すくなくとも根本對策は問題とならぬ。瑞穗の國の御難ではある。すくなくとも日本の農村は、自給自足の封建的な經濟時代から資本主義的な貨幣經濟時代に遷らんとする過渡期にあつたものといはねばなるまい。そこに米穀對策の根本問題が横たはつてゐるともいへやう。

◇

上野の山下で楊子をくはへて餓死することはないが、大黑さんのやうに米俵をふまへて、新らしい經濟生活に貧乏せねばならぬ時代に働かねばならぬことになつたのである（一記者）

對支借款整理のわが單獨交涉開始

代理公使を通じ圓滿解決する 外務當局では樂觀

【東京特電廿五日發】對支借款整理に關する各國の債權者會議は支那政府當ての聲明によれば本年十月一日以前にこれを開催すべき筈であつたがその後内亂勃發のため遷延し目下の形勢では果して何時になつたら開催されるか豫測しがたき狀態で、債權各國は支那政府の

誠意を 疑ひながらも一面事情やむを得ずとして諦めてゐるやうである、されどわが國の場合は他の各國のそれと幾分事情を異にし、支那との關稅條約案が樞府に諮詢された際、政府は對支借款整理會議開催および釐金稅廢止がその條約承認の附帶條件となつてゐると說明し、以て樞府の可決を希望した關係上、十月一日を過ぎたるに拘らずなほ債權者會議の招集されざるに對し事情止むを得ずとして放任しがたきものがあるのでソコで外務當局は最近重光駐支代理公使に命じて

わが國 單獨に債權整理の交涉に入らしめ、目下折衝中であると傳へられてゐるが、この交涉に民間債權者代表の參加し居らざるため一部不滿の意を洩らすむきあるに對し、外務當局では民間債權者の意向は既に代理公使に充分通じてあるから必ず圓滿なる解決に到達するであらうと本交涉の前途を樂觀してゐる

各軍整理と黨の淨化が問題

一步を誤れば再び紛糾せん 戰後の北方時局觀測

【天津特電廿五日發】戰後の大問題は軍隊の整理と黨の淨化であるが、鄭州陷落一帶に雲集してゐる中央軍は近く各省に分駐して

共産 黨と土匪の討伐に當る筈であるが黃河北岸に在る反蔣軍の解決後にならう、反蔣軍の解決は張學良氏が擔任し目下政治的解決案に就て閻馮兩氏の代表と協議を重ねてゐる、併し閻馮兩氏は全軍を山西、陝西、甘粛、綏遠に集め之を地盤として將來に備へることを定め之等の地盤には東北軍の一兵をも入れずと頑張つてゐる、殘るは石友三軍六萬で石氏は既に衞兵六百を擁へて奉天に乘込み張學良氏と談判してゐるがその

駐屯 すべき地盤は一問題であらう、軍隊の整理が公平に行はれなかつたならば中央軍隊には戰勝の論功行賞に因る不滿爆發し反蔣軍は窮鼠却て猫を嚙むの態度に出るであらう、黨の淨化に就いては南京當局も漸く輿論の黨部に對する不滿を反省し頻りに下級黨部の撤廢を進め既に軍隊に於ける黨員は一師に二三名とし師、黨の下級黨部を

裁撤 更に縣黨部をも撤廢して了つたが斯くて黨部は完全に小組織派の全滅を來し現政府系を以て堅めつゝあるも北伐完成までに大功のあつた黨員は黨籍を除かれた者が多く之等と下級黨部の結合は反蔣運動よりも更に力强い反政府運動を起すことになるのでないかと見られてゐる要するに南京側の聲明する軍隊の整理と黨の淨化に就て若し一步を誤れば現

政權 の存亡とも見るべき大きな變亂が發生するであらうと傳へられてゐる

ルイズ大統領

退位要求拒絶

【リオデジャネイロ二十五日發電通】ブラジル大統領ルイズ氏は大統領退位の要求を拒絶してゐると

大連印刷業組合の勤續者表彰式

けふ盛大に擧行さる

大連印刷業組合の第六回勤續者表彰式は二十六日午前十時半から常盤町大連語學校講堂に於て開催された、來賓者は富田民政署庶務課長、尾崎大連署長、長濱市役所社會課長、木村滿鐵總務部次長、恩田市會議長ほか數名、定刻山田東亞印刷支店長の開會の辭に次いで太田組合長の式辭あり、それより廿五年、二十年、十五年、十年、五年各勤續者に對しそれぞれ證書を授與したが、辛島民政署長、田中大連市長、仙石滿鐵總裁、恩田市會議長、村井商工會議所會頭、高柳本社長の祝辭に對し二十五年勤續者辻松太郎氏受賞者總代として答辭を述べ閉會した、因に表彰勤續者數は左の通りである

▲二十五年辻松太郎、伊藤平太郎、成會亭、房照齢（四名）▲二十年野村馬之助、飴培有（二名）▲十五年渡邊榮一ほか五名▲十年寺井鑑之助ほか七十四名▲五年本田常吉ほか百十一名

外人視察禁止

葫蘆島の工事

葫蘆島築港事務所では張學良氏から同工事中は絶對に外人の觀察を禁止すべしとの命を受けたので外人の觀察を嚴重取締つて居ると（營口電話）

藏相、大磯に靜養

【東京二十五日發電通】井上藏相は二十五日午後一時四十分東京驛發大磯に赴き二泊靜養のうへ二十七日朝歸京する筈である

天氣豫報

廿七日（北西の風）晴れ

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	一四、三	二一、五
旅順	一六、三	二一、二
營口	一二、三	二一、二
奉天	一一、二	一九、七
長春	一一、二	一八、八
哈爾濱	七、四	一〇、四

東北電信統一

管理處を新設

東北交通委員會は東北四省の電報電話、無線電信を統一するため新たに東北電信管理處を設けて交通委員會の直轄とし從來の東北電政管理局、瀋陽電報、電話、無線電各局を始め各地方の電政事務を悉く同處に移管することゝなり處長には張學良氏秘書で去月電政管理局長に就任した朱光沐氏が任命された【奉天電話】

四千萬元の獨逸借款

東北鐵道計畫

東北交通委員會で計畫中の東北鐵道網は大體計畫案成り通遼、黑河間、吉林綏芬間、葫蘆島、東倫間の七大幹線で約四千餘里、總工費九千萬元その內ドイツより四千萬元借入他は東北四省の官商分擔で明春から起工する豫定であると

大飛行場を北陵に建設

鐵道を敷設

東北航空司令部は現在の東塔の飛行場が東西七百メートル南北五百メートルに過ぎず狹隘を感じてゐるので今回新たに北陵に大飛行場を建設することゝなり既に敷地の買收を終り北寧鐵道局の手に依つて皇姑屯より三臺子北方地點までの鐵道敷設に着手してゐる、新飛行場は二千メートル平方で來春早々地均し及び格納庫建築工事に着手する豫定である【奉天電話】

英國產業視察團上海に到着

【上海二十五日發電通】訪日英國產業視察團アーネスト・トムソン氏以下十三氏は二十五日午後四時ピー・オー汽船マゼソン號で寄港した、明日市中見物の上二十七日午後一時神戸へ直航すると

ブルガリア國王

伊王女と御結婚

【アッシ（イタリー）二十四日發電通】ブルガリア國王ボリス陛下とイタリー第三王女ジオヴアンナ姫の御結婚式は本日午前十一時歴史を誇るセント・フランシス教會で古式も莊嚴に擧行された、歐洲大戰當時敵味方に分れて戰つた兩國の皇室間に行はれる御縁組は今回が最初である

公式に發表された

重大性を帶びて來た 所謂間島問題の前途
在留鮮人の保護問題を中心に わが當局頭を惱ます

【東京特電二十六日發】龍井村における支那軍隊の日本巡査射殺事件については先般來岡田總領事より支那側官憲に對し嚴重なる抗議をなすと共にこれが善後措置につき交渉を重ねしめてゐるが、その結果は支那側の無誠意によつて頗る要領を得ない、然し乍ら日本側としては本事件を成るべく局部的地方問題としてその解決を急いでゐるが、一方間島事件の根本原因としては一昨年來間島の支那官憲の在住鮮人壓迫は漸次その度を加へてゐる上に、今春來間島方面の所謂不逞鮮人等は支那側匪賊と氣脈を通ずる傾向を生じ、殊に彼等一味は最近第三インターの指令を受くる中國共產黨滿洲小委員會と連絡していよ〳〵共產主義運動の色彩を帶びて來たので日本としては間島居住の約四十萬の鮮人保護の上より今後頗る重大なる問題たらしめんとしてゐる、しかも支那側のこの不逞鮮人の共產主義運動に對する取締はやゝもすれば支那側の鮮人壓迫と一緒になつて頗る複雜な問題を惹起せる事例に乏しからず、しかしてこれが對策については外務省側の方針と朝鮮總督府側の方針が必ずしも一致せず關係方面に於て相當頭を惱ましてゐるやうであるよつて外務當局は曩にも織田參與官を京城に出張せしめて種々打合せを遂げしめたが問題の前途は在間島鮮人保護問題を中心として頗る重大なる性質を帶びんとしつゝあるものゝ如くである

三浦亞細亞局第二課長 突如、間島に出張す
日支關係の實情調査と打合せに

【東京特電二十六日發】外務省亞細亞局三浦第二課長は突然約四週間の豫定で間島に出張することゝなり廿五日午後九時四十分東京發列車で出發したが今回三浦課長の間島出張は最近の間島事件其他間島における日支關係の實情調査と共に岡田間島總領事との今後に亘る對支交渉方針について重要打合せを行はんとするものである

登記代書人指定 生活を脅す
市内代書人が善後策協議 近く民政署に陳情か

登記代書は市内代書人が各自取扱つてゐるが中には書式不案内のため書き方が區々で大連民政署法務係でも事務の處理上甚だ困るところから今回登記代書を指定することゝなり、目下市内各代書人から履歷書を集めて銓衡してゐる、しかし一件について五圓もとれ、他の代書中で唯一の儲け口である登記代書を僅か五、六人に特定されてしまへば他の六十數人は大打擊を蒙り、また司法代書人の資格をもやかましくいはれてゐる際、當業者にとつては生活を脅かす重大な問題であると中には暗中飛躍を試みて指定に與らんと運動してゐる者もあるが、彼等は目下善後策について協議中で近く民政署に陳情する模樣である

菊花まつさかり　けふ中央公園にて

全滿美術展
長春で開催

冬の訪れの早い北滿の長春に第一回美術展覽會が地方事務所の主催で十一月二、三の兩日滿鐵社員俱樂部樓上で開催される、觀覽は午前九時から午後四時まで、二日は日曜、三日は明治節の佳日、開け行く秋の名殘を飾るに相應しい催しである、出品は自己の創作に限り左記規定で全滿から募り、事務は一切長春地方事務所社會係で扱ふ事になつてゐる
▲出品物　洋畫、日本畫、寫眞彫刻、大さ數量隨意▲出品申込十月三十日限り▲出品物搬入十月三十日迄俱樂部事務室內▲出品物は出品者に於て表裝額緣等の裝飾設備を爲し出品目錄を添へ命題價格及出品人姓名を明記せる紙片を貼付されたし▲出品物は審査の結果優秀なるものに賞品を呈す▲出品物中非賣品にあらざるものは價格を記載すること▲出品物搬入出は出品人の負擔（沿線よりの出品物の返戻經費は主催者の負擔）▲出品物に對し不可抗力損傷は主催者辨償の責を負はず【長春發】

九條武子さんふたり
空の旅で「無憂華」のご挨拶へ來連

東亞キネマが社運を賭して日本映畫界未曾有の大宣傳を行つた九條武子夫人の一代記映畫「無憂華」の主演者として全國より故九條武子夫人の風貌に似た女性を懸賞募集し、これに當選し娘時代の武子夫人に扮した鈴村京子と夫人時代に扮した三原那智子の兩名は全國各主要都市の映畫「無憂華」封切會に出演挨拶をなし、その容貌風姿が故九條武子夫人に生寫しだといふので人氣を集めてゐるが、大連の「無憂華」封切にも來連が噂されその時期は來月上旬頃と見られてゐた處、突如廿七日福岡發の旅客機にて高村撮影所長、安部九州支店長と共に空から來連し舞臺に立つてファンに挨拶することに決定した（寫眞は三原那智子（上）と鈴村京子）

人選着々すゝむ 新設の刑事課
大連阿片局跡に看板を出すのは十一月末ごろか

司法警察力充實のため新設の刑事課は目下關東廳警務課で人選その他につき着々と準備を進めつゝあるが先づ初代刑事課長は既報の如く有田保安課長が兼任することゝなり、鑑識係長には關東廳保安課勤務田口警部が任命される模樣である、なほ現大連署警務主任星警部及び巡查部長三名、巡查三名は廿五日附刑事課兼務を正式任命された、星警部の兼任は搜查係長に拔擢される前提と見られてゐる、この結果大連署主任級に相當異動ある模樣である、かくして刑事課の人選が終り次第、大連阿片局の跡に刑事課の看板を掲げ事務を開始することになつてゐるが、その時期は十一月末ころとなる筈である、しかして刑事課の新設と同時に現在の大連署の首班とする特別搜查班は廢止され、これに代つて刑事課が特別的犯罪搜查に携はることになる譯で、その活動振りは今から各方面に期待されてゐる

各若宮さまに 花蔭亭御披露
皇后樣、御十方をお召

【東京二十六日發電通】皇后陛下には御大典記念に全國官吏の獻上した吹上御苑內御休所花蔭亭を未成年皇族殿下に御披露のため秋雨の跡爽かな二十六日午後二時から花蔭亭に澄宮殿下を始め朝香、東久邇、北白川、竹田各宮若宮殿下御十方を召させられた、陛下には照宮樣御同伴にて出御遊ばされ御茶を賜はつて色々と御物語りなど遊ばされ、かくて若宮殿下は秋色の御苑內を御逍遙、聖上陛下の生物學御研究所などを拜觀四時過ぎ御退出遊ばされた

觀艦式拜觀者で 湧き返る神戸市
ゆふべの雨に用意の雨具 スッカリ持てあましの喜劇

【神戸二十六日發電通】晴れの觀艦式拜觀のため神戸驛は二十五日夕刻から地方人殺到し鐵道側は列車を增發したが、なほ不足を告げる始末で神戸驛始まつて以來の大混雜である、昨夜から今朝までの旅客を調べて見ると神戸一萬一千、三宮三千八百、須磨六千八百、兵庫一萬、住吉三千、蘆屋二千、灘二千、三田四千と驚異的數字を示し中には一列車借切りでやつて來る者もある、殊に昨夜の雨に用意した雨具が今朝は思ひがけぬ觀艦式日和にすつかりもてあまされて

拜觀者 百萬人

ゐる等は喜劇である、この朝阪急、阪神、宇治電等各電車の輸送客は午前九時五十萬を越ゆる盛況である

【神戸二十六日發電通】光榮と歡喜の夜は明けた、氣遣はれた夜來の秋雨はからりと晴れて今日は絕好の天皇日和。淨雨に淸められた神戸の町は徹宵喜びにざはめき神戸裏山から山といふ山、丘といふ丘には今日の盛觀を拜せんとする人々が徹宵押掛け今朝未明既に諏訪、六甲を始め人を以て埋められた、各郊外電車は昨夜來全能力を擧げ盡したがそれでも運び切れず切符賣止めと云ふ大混雜、此の日京都大阪より押寄せた拜觀者を合すれば百萬人に達したといはれ阪神沿線の海岸も文字通りの人の山を築いた、午前八時劉喨たるラッパの音がほがらかに海岸に響くと砂濱に跪座した奉拜者中には遙かに海上を伏拜む老人さへ見られたこの日大阪から神戸に向つた拜觀船四百隻、神戸附近の拜觀船を合して二十萬人と數へられた、茅海を壓する百六十四の艨艟、七十餘機の爆音は六甲の山にこだまして空前の盛儀は終へられたが今夜は又各艦のサーチライト、イルミネーションが神戸沖を光の海と空に化する

洗面器を鳴して 誘出し滅多斬り
痴情の果ての兇行か ゆふべ旅順管內の殺人事件

廿五日午後十一時三十分ころ旅順管內方家屯會安嶺屯十七番地候毓升方の門口で鉄力製の洗面器を打ち鳴らすものがあるので主人候毓升（四七）は何事ならんと表へ出て見ると、洗面器を捨て矢庭に鎌をもつて候毓升の脇腹を突き刺し、更に頭を滅多斬りして即死せしめ、逃走した殺人事件があつた、ほど經て家人が發見旅順署に急報犯人嚴探中である、何者の仕業とも判明しないが痴情關係の兇行と見られ洗面器を打ち鳴らしたのは被害者を誘ひ出す手段であつたらしい

二百餘圓入りの 財布を掏らる
浪速町で夜店素見中 スリが横行ご用心

大連信濃町百廿五番地植田鷲之助は廿五日午後七時ごろ浪速町夜店を見物中、現金二百二十三圓入りの赤革の財布を掏られ青くなつて大連署に訴へ出た、最近盛り場へスリの一味が入り込んで盛んに荒し廻つてゐるので刑事連が眼を光らせてゐる

早大騷動遂に 學校改革運動化
反田中理事熱漸く昂る

【東京廿六日發電通】紛爭開始十日正式に臨休を開始して三日の早大ストライキは商業部、政經學部理工學部學生五十餘名を除き總て二十五日理工學部建築科一、二、三年生も全建築科の名において聯合委員會の統制に服しストライキまで學校當局に對峙してゐるが、早大はかくて擧げてゼネストに入つた、聯合委員會は二十六日日曜を慰安デーとして各クラスを單位にピクニック、スポーツ、娛樂等を行ひ結束を固め持久戰準備を固めてゐる、一方學校側は極力切崩しを行つてゐるが教授會の一部には反田中理事熱昂まり校友またこの潮流に合するもの多く學校改革運動となりつゝある

高田政代孃 優勝す
砲丸投げに

【大阪特電廿五日發】廿五日大阪市立運動場で擧行された全日本陸上競技選手權大會は折柄の大雨のため記録は總體に惡かつたが滿洲を代表して參加の女子砲丸選手大連彌生高女の高田政代孃は八米九七の記録にて見事優勝した

ボーイ風の 剰錢詐欺
雜貨商が一杯

二十五日午後六時四十分ごろ大連信濃町九三番地雜貨商萬和東方へ二十歳位のボーイ風の支那人が訪れ木炭一俵（八十錢）を注文し十圓紙幣で渡すからと剰錢を用意させて岩代町寶湯表まで店員に持參させ、そこで木炭と剰錢九圓二十錢を受取り「一寸待つて居れ」と湯屋に入つたまゝ出て來ぬので初めて詐欺に掛つたと判り大連署に屆出た

日曜でおは賑ひ
兒童愛護デー（第三日）

兒童愛護デーの三日目二十六日は午前九時半から滿鐵協和會館で大正小學校訓導丸山良一氏の童話があつたが日曜日とて入場者多く頗る賑はひ午後一時からは大正小學校講堂で本社靑山記者の童話並に銀鈴少女會の童謠舞踊があつて盛況を呈した

軍縮記念放送の 自信をつけた
昨夜JOAKのテスト

【東京二十六日發電通】二十七日の記念すべき軍縮放送を前に愛宕山放送局は二十五日夜最後のテストを行つた、十時半頃から早くも米國アール・シー・エー會社のボリナス送信局から若槻を經てジャズが聞え始め、十一時になると札幌から「ハリウッドからの放送を中繼します」と呼び出し佐藤ロスアンゼルス領事から懷しの日本語で呼びかけがある、放送局內はこの前よりずつと良成績だと大喜びである、かくて深更一時まで續いたがこれで晴の本放送もいよ〳〵折紙がついた譯だ

女子籠球大會

大連YMCA主催、女子バスケットボール大會は廿六日午前十時から市內敷島町同會館で擧行されたが神明、彌生兩高女の年級別の對ひとなり、三四年の兩組は共に神明を破り結局神明二勝一敗の好成績にて正午すぎ閉會した、成績左の如し

神明二年 22（10—2、12—2）4 彌生二年
F 紅大・松塚　C 高崎　G 岩井・今西（神明）
F 木佐・內川　C 有馬　G 野森・村藤・立川（彌生）

彌生三年 18（10—4、8—13）17 神明三年
F 土屋・星野　C 金子　G 井上・上井（彌生）
F 渡邊・秋山　C 伊勢　G 神成・大阪（神明）

神明四年 17（6—10、11—5）15 彌生四年
F 田江崎・下大宮　C 岩井　G 山井田・杉古高（神明）
F 松田・田植・林佐　C 三吉　G 渡邊・神崎（彌生）

俠艶一代男 (98)

米田華舡作　伊藤幾久造畫

狐か狸か(八)

「御用人樣でござりまするか?」と、つかつかとその前へ出た目明き按摩の道玄が、腰を低く「加州の御濵人依田八左衛門さまのお嬢さま、お千賀さまでございます。御覧の通りまだ鉢つて世間馴れない方で、唯今もその、御門前まで参りまして、あれ、あのやうに羞かしがつて這入らうとなさらないのでございます、えへゝゝゝ」

「本當に年ばかり行きましても、からきし小娘でございますよ。ホツホゝゝゝ」と、老婆も負けずに實物に花を添へた。

「左樣か?いやはや他愛の無いこと!しかしその羞かしがる所がまた得も云はれぬよい所でござらうよ。はーい、殿さまもなかなかお眼が高い。さうぢや、門前でいつ迄も愚圖ついていては居られぬ。お前さまが羞かしがるには、時がまだ早ふござる」

「ホツホゝゝゝ」と、老婆が梟の鳴くやうな笑ひ聲で「御用人さまもなかなか隅に置けぬことを仰しやりますれ」

「はーい、その通りでござる」

蛙の面に水と云ふ言葉通りに、老婆が輕い冗談など、用人鷲尾左内には感ぜぬらしい。

「ではお千賀さま、御案内致しましやうぞ」と、先に立つた。

「乳母やも、小父さまも一緒に…!」と、お嬢がいかにも内氣らしい樣子で、餌の道玄と老婆とを振返つた。

「へえ、お伴を申し上げますよ」

みながぞろぞろと門前から玄關式臺の方へ歩いて行つた時、十六日の月が築地を越した屋根瓦の上にまん圓く上つて、そこら一面を蒼白く照してゐた。

「道玄!」

「げえッ!」と、突如に呼ばれた目明き按摩の道玄、ギクリと胸をつかれた思ひで、聲した植込みの方を佇んだまゝ見つめると、姿を隱すため、屈んでゐたと見える、八番組か組の纒持濟吉が立上りざま、つかつかと歩み寄つてくる。その後からは龍吐水持の金次。

「うまく化け込んで來やアがつたな!」

一時はハッとしたが、さすがに膽の据わつた惡黨だけ、かうなると太々しく

「俺はそんな者ぢやねえ」と、鐵を横に外せると憎々しい態で空嘯いた。

「ふむ!そんな者ぢやねえ?さうか?金次!お前は此奴の面をよく見知つてゐるさうだから、改めてみてくれッ!」

「あいよ」と、待つてましたと許り、金次がのこのこと前へ出ると

「やいやいッ!目明き按摩の道玄!うぬはか組の金次のこの顔を見忘れたか?そつちぢや覺えがねえと吐すか知られえが、盲目長屋にゐたお尋ね者の道玄、うぬの面を忘れるものか?淺草田町の八軒長屋で、一軒置いた隣り合せ、朝晩に顔を見合してゐたか組の金次だ。まさかかうなつてまで、手前はしらを切つて知られえとは吐すめえな?」と、詰め寄つた。

「か組かへ組か?俺はお前のやうな町火消の三下野郎、溝浚ひ風情に懇意はねえ」

「何ッ?ちやア手前は飽くまで知られえと突ッ張るんだな?」

「知れたことだ。どこの何奴から頼まれたか知られえが、知らぬ事は知られえと云ふ迄よ」

「よしッ!さうか?外の奴等に用はねえ。手前だけしよッぴいて行くから覺悟をしろ」と、金次が道玄の前へ廻ると、突如に胸倉を摑まへた。

「な、何をするんだ?洒落た眞似をしやアがると、承知しれえぞ」

金次の手を矢庭に振ひのけざまキッとなつて、立ち直つた。

「哥貴!面倒だッ!やッちまふぜ」

腰にさした鳶口、振冠ると、氣早の金次は

「道玄!覺悟をしろ!」と、打つて懸つた。

體を捻つて、空を打たせ、流れる手首をぐつと摑んで、睨み廻しながら

「手前たちは俺が遺恨か知られえが、俺たちの仕事の邪魔をしやアがるんだな」

キネマと演藝

二館同時に一齊封切　映畫『無憂華』

東亞キネマ作品九條武子夫人「無憂華」は愈々廿七日より大連にて封切されることになつたが、滿蒙館にては豫定の前賣券を發行し盡したので一館のみにては收容し切れぬため豫想されてゐた如く濱速館同時に封切をなし大連映畫興行界に新記錄をつくることになつた尚入場料は階上一圓廿錢、階下一圓で前賣券は八十錢に割引してゐる

大連 JQAK

十月廿七日午後七時

▲ラヂオ體操
以下歌舞伎座千島會一座連絡放送
▲舞踊　千島家娘子軍
▲萬歲　鶴賀清子、花の家福丸
▲萬歲　千島家さんぽ、同力丸
▲舞踊　千島家娘子軍
▲女道樂　竹の家小蝶
以下大連放送局より
▲職業紹介事項
▲料理献立
▲天氣豫報

東京 JOAK

十月二十七日午後七時

▲漫談「調子の狂つた演説」大辻司郎（伴奏指揮）ガンジン
▲琵琶（薩摩）大照秀子
▲新日本音樂（一）歌謡曲「山椒太夫物語」久本玄智外五名（獨唱）吉田滿喜子（二）尺八二重奏「靈慕流し」野村景久、下川潤久、（箏）平川佐知子（三）管絃合奏（鳩笛）出邊尙雄作（指揮）出邊尙雄

小太夫の中山七里　長谷川伸の原作「中山七里」を既に菊五郎によつて昨春新橋演舞場に上演され嘗り狂言と言はれた作であるが、これを歌舞伎界の新人市川小太夫が主演してミナトーキー第一回時代劇發聲映畫として製作中で月末完成し十一月封切の豫定である【寫眞は小太夫の政吉と春野歌子のおさん】

改名記念　暖房界の大改革

改稱に付謹告

弊店儀昭和三年**タイハンストーブ**發表營業以來皆樣の絶大なる御愛顧を蒙り優秀品として多大の御賞贊を得ましたのは之れ偏に皆樣の御後援の賜と深く感謝する次第であります

然るに商標と新案權の一部分が店員波多野巖なる者の名儀で出願登錄を受けてありました所本人は之に理由つけてか自由の行動を取り本年三月初旬頃書面にて金錢の要求をなすなど不當の擧に出で來たのでありますが同人には店員として毎月一定の給料と年末毎に損益に拘はらずに賞與金を給與して居る樣な譯で店に對しては一厘の出資關係もなく且つ本人差入れの覺書もあるので斯る過激なる言動を改めて將來一層に精勵勤務すべく反省を促して此の要求を拒否したのであります

斯くする中に本人が病氣に罹りました爲めと又他の誤解を受くる事などを憂慮し工場の佐藤、松岡の兩氏と共に其の病床を尋ね寛量を以つて本人の意志を尊重し從來の給料を歩合制度に變更して一切を佐藤氏に委して意見の一致を見たのでありまする處が後日になつて本人の要求に相違を來しましたので致し方なく其儘本人が冷靜に立ち返る時期まで待つ事に致しました

然る所言語同斷にも其の名儀なる分を本年七月頃拙者不知の間に大阪市東區谷町二丁目湊商店出原邦二氏に讓渡したるに拘らず一言の通知もなく其の後九月頃出原氏自身當方の製造工場へ訪れストーブ製造を依頼したるも拒絶されたるに付き更に特約販賣したき旨を以つて弊店へ來りたる結果見本品を納入し內地總代理店株式會社金剛商會大阪支店より社員を派し販賣に對する詳細なる說明までなしたる次第であります

其の後間もなく突然に出原邦二氏よりタイハンの權利は拙者のものなる旨を申し出でたるに付き當方にては理解ある解結の交渉をなせしも表面上の名義人となれるが爲め之に乘じ突飛なる要求をなすので弊店は商人として爭を避くるべく斷然**意義ある名稱「モハン」と改稱し尚一部分を改良**すると共に皆樣に奉仕的値段を以つて御提供する事に致しました最も品質は嚴選し煤煙防止のモハンとして「**永遠に良い品を安く賣る**」と言ふモットーで現在より以上皆樣の御期待に添ふ確信を以つてをります

何卒御同情御後援下さいまして一層の御愛用を希ふ次第であります

大阪　**岸田商店**

タイハン改め　モハンストーブ

大英斷!

奉仕特價

品名	高さ	定價	特價
一號和洋室用	高サ二尺七寸	定價二十円五十錢	特價十四圓五十錢
二號和洋室用	高サ三尺一寸	定價二十五圓	特價十八圓五十錢
三號炊事兼用	高サ三尺一寸	定價二十七圓五十錢	特價二十圓

關東州外は運賃及税金を加算す

中國總代理店　**大德洋行**　大連市監部通　電話五七三三番

文藝

滿洲の生育せる詩人と其の詩書

城　小碓

私は滿洲詩壇なるものが何時頃から發生したものかは知らない、私が滿洲の詩壇なるものを知つたのは「亞」の廢刊記念會からだ、其れは昭和三年の二月だと思つてゐる、其れ迄に滿洲の詩人から六冊の詩集が出てゐる。北川冬彦氏の「三半機關の喪失」「檢温機と花」稻落氏の「古き旅行地圖」富田充氏の「春扇」加藤郁哉氏の「杏」野村吉哉氏の「三角形の太陽」である。

其の內三半機關の喪失、古き旅行地圖、春扇の三册はパンフレット風の二三十頁の小册子である。

昭和四年になり東京の厚生閣から「現代の藝術と批評叢書」の第二編として安西冬衞氏の詩集「軍艦茉莉」が出た、此の詩集により氏は一躍、中央詩壇に新詩人として認められた。

同年、東京の素人社から加藤郁哉氏が第二詩集「迷水」を刊行し川崎の詩の家から、古川賢一郎氏が詩集「老子降誕」を出した、其の頃東京に在住せる北川冬彦氏のマクス・ジャコブの譯詩集「骰子筒」が出版されそして五年に至りて同じく東京の厚生閣より詩集「戰爭」が出てゐる、尙、營口に在留する青木出郎氏が東京の獅子發行所より詩集「車」を出した（註青木氏は現在は東京に居る）其の外、安東から誰かが詩集を出したとある雜誌で見た、大連に於ては戎克同人より詩集「戎克」を出してゐた、此れは詩誌戎克から採錄したもので出版部數、僅か六册である。

六月に至り私の編纂、稻葉亨二氏の裝幀になる滿洲最初の詞華集として「塞外詩集」が出版された、尙最近島崎恭爾氏の第一詩集「國際都市」が出版されんとしてゐる

以上は詩書にして詩人としては北川冬彦氏全日本詩人の花形として中央に活躍し、野村氏影を見せず往年の滿洲詩壇に功績ある北岡實は今は織岡に寂しく記錄してゐる

尙滿洲に在住せる詩人としては「あゆみ」「滿洲詩人」時代の人々で現在尙詩作をつゞけてゐる詩人として安西、瀧口、加藤氏あり、志村、稻澤、城所、富田、諸谷等の諸氏は短歌、其の他に轉換してゐる。

秋の太子河（四）

淺枝次朗

砂崗子の山峽

飮家堡子の合流點で渡船を渡ると砂崗子と云ふ村がある。河は山峽を急カーブして流れ、この附近は丁度本溪湖と遼陽との中間に當り、太子河中最も景色が變化に富んでゐる。

村を端づれて下ると道は恐ろしく高い絶壁の上へ登つて行く。車や馬は勿論人が辛うじて通れる程の小徑である。上から見下ろすと、白い砂や礫の河床を藍色の太子河がゆらゆらと曲線を描き、對岸には長城を想はせる奇岩を背負つた山が伏してゐていゝ氣持になる。

飛行士（八）

ヴ・イテイン作　浦路觀譯

チャンツエフは眼を仰向けにして前の山から湧き出して來た雲を見つめ乍ら飛行場を歩き廻つてゐた、山はそれらの雲と戰つて飽くまで雲に負けまいとしてゐるやうな風である、彼の眼の中はトギレトギレの夢がまだ充分醒めない混亂したやうな空つぽになつたやうな又崩れさうな氣もした、雲が段々濃くなつて來て上に上にと重なつた彼は空氣を嗅いだ、それは吹いて來る風の水蒸氣の多さを嗅ぎ別けるのに慣れてゐたからである K四號から意外にもエッツが出て來た

——お早うと彼はどなつた、チャンツエフは急に立ち止まつた、彼にはエッツのこの大聲の挨拶が何となく不自然らしく思はれた、然し彼はそんな感じを壓さへてしまつてそれが實に豫期しなかつたことが嬉しいとか獨言のやうにと云ひながら走つて行つて挨拶した

——役目です、私の役目です、よしとエッツは言譯らしく云つた丁度その時エルテイシエフが來たので話の調子が變つた

——吾々の計畫はこれから眞直に飛ぶことになつてゐます——とチャンツエフが言つた、飛行計畫は飛行が終るまで口外してはならぬことになつてゐたのであるが彼は不用意に言つてしまひ、——それ丈けなのです、あちらから私が電報を打ちます——エッツは向きを變へて空をながめた

——貴方にはモン、ローザの近くを飛ぶことになりますね、貴方々の機械は外國の優秀な飛行會社の機械に比べて競爭し得ますかね、天候の回復を待つた方がよくはありませんか、萬一雲の中を飛行中着陸せねばならぬやうなことになつたらどうなさる？——いや、モーターは大丈夫ですとチャンツエフが面倒臭さそうにいつた、彼は自分の飛行機が優秀だと思つてゐるから外部の者がそんな餘計な注意をするのを不愉快に思つてゐた彼は飛行機の方に近よつて行つた

——よしッ——とエルテイシエフが叫んだ、チャンツエフは調子のよい輕い廻轉に微笑んだ、彼は全力を出してすぐ上舵をとつた、離陸した時彼は下にゐるエッツに最後の一瞥を投げた、そのドイツ人は前と同じやうに顔を仰向けにして立つてゐた、彼の唇は何故か開けたまゝでそして何か言ひ忘れたことでもあるやうに兩手を上に擧げてゐた、チャンツエフはそれから方向を轉じてからモーターに耳を傾けて見たがすぐ安心した彼はゆつくりと椅子の背によりかゝつた生温かい風が顔にかゝる、風は何となく重くて電光のやうな光かキラキラしてゐた

チャンツエフは空中を飛んだ時間を數へれば何千時間であるかその度毎に飛行家の最後を恐れた、彼の空中生活も今では八ケが附いた、彼は既に地球から月までの距離以上のレコードを持つてゐる、然し常に彼を脅かしてゐるものは大地だつた、空中の生活は寒いとか恐ろしいとか云へばよいものではないが、唯茲で彼を喜ばして與れるのは舵を握つてゐる間は彼は最も自由な人間であることであつた、彼は前方を見た、山の上に雲が折重なつてゐた、しかし何れにしてもその上に出てしまへば同じことだと思つた、そしてそれが充分自信があつた。

彼の後ではエルテイシエフ君が目を見はつたまゝ居眠りをしてゐた、彼は昨夜愉快な一夜を明かした、そして今はチャンツエフと同じやうな自由な氣分に浸つて微笑んでゐた、それは丁度一九一七年に彼が牢を出た時のやうな氣分だつた、彼はその當時のことを思つたりそれから現在まで共產黨入黨仕事、妻……などと一日牢獄から這出たが又逃れることの出來ない宿命に引づられて變遷して來たことを思ふと恐ろしいやうな氣がした。

前方の山が水色に變つて來た。

五作家の横顔

大庭武年

「忙がしい」と言ふことは、事實それ程でなくとも、よく口實にだけは使はれるものである。私はその手で約束を二度迄怠けた然し今度は三度目だ。兎に角、既載二篇の後を受ける「菊池氏一行」に就ての記事を完結さすだけはさせて置かねばなるまい——假令それが既にニュース・ヴァリユを失つて了つたものであるにしても。だが甚だ私の憂鬱とする所は、どうも私のペンが私の思ふ通りに動いてくれない事である。私は最初上中下の最後の一篇を「秋を行く」として、私が一行と共に途中迄汽車で奥に向つた時の事を書いて、全篇をまとめやうと考へてゐたのである。然しそれが思ふやうに書けないのである。私は今度筆をとるに際して斷然標題を上記の如く改めた。これで約が果せれば幸甚である

池ノ谷新三郎氏

氏は育ちのいゝ坊ちやんである。ひねくれた所の些ともない明るい拘泥はりのない青年である。講演を嫌つてスツポかす所などは「處女的」風貌がある。氏は講演の日社員俱樂部二階で色々と、氏の主宰する「蝙蝠座」に就ての打開話を私にしてくれた。一ケ月の練習期間中は俳優に芋を喰はせて置くと言ふ內幕迄も。私は此の「蝙蝠」の作者に少しの外國かぶれも發見する事が出來なかつた。私には氏の衒氣のない性質がたいへん好ましく思はれた。

横光利一氏

純藝術家的風貌である。その傍笑さうな眉目、氣むづかしさうな引緊つた唇、能力消費者らしい痩せた顔容、そしてポツリポツリと聲に力を入れて吐き出す話振り。——その作品から受ける感じとそぐはないものはない。我が日本文壇が持つ第一級の藝術家としてその貫録も十分にある。私は展望車の廣い窓から秋の曠野を氏と打眺め乍ら、滿洲を題材とした小説が當然生れ出なければならぬ事を語り合つた。私は山東から來る「甲板客」を題材とした小說を書かうと思つてゐる事を話すと、氏は自分も「上海」物の續きを「滿洲」に持つて來て書く心算だと話した。氏の勉強振は汽車中でも頻りにメモをとり出して印象を書きとめてゐるのでも想像された。氏の藝術が決して氏の聰明ばかりで磨かれたものではないやうに思はれた。

佐々木茂索氏

フランス流の紳士。氣輕で、ええさう振らないで、さうかと言つて輕はづみな所は些ともない。私は氏からは、藝術家と言ふよりは溫好な若紳士の感じを受けたのだつた。

直木三十五氏

私は氏を初めひどく無愛想な人だと思つた。然し顔を度重ねて合はせると、私の印象は全く間違つてゐた事を發見しなければならなかつた。氏は本當に人なつッこい人であつた。氏は寡默のやうであつて、話が好きであるらしかつた。それに又文壇の横紙破りと稱せられてゐながら「近頃やつと講演の前になつてもドキドキしなくなりましたよ」と私に講演後述懐する程、氣騒ない人であつた。氏は汽車中で私の探偵小說を讀んでくれ、そして私が列車から降りる際迄（展望デッキに横光氏と共に出てきてくれて）創作に就いての注意を與へてくれた。私は將來氏に師事してもいゝ位に思つてゐる。

菊池寛氏

名聲を鼻にかけたり、眼下の者を鼻の先であしらつたりするには餘りに氏の教養が、そして常識が高すぎる。氏は着連後R旅館で寛いでゐる時、某紙の記者が名刺を通して訪れて來たが、氏は崩してゐた足を坐りなほしてキチンと居ずまひを直された。一事が萬事氏は總て氣さくに心やすく振舞ひ、決して高くとまつた所などはない。甚だ感心させられた事である。然し氏の顔を見てゐると非常に剛氣な所がある事に氣づく。氏が兎に角今日迄自己の地位を押し進めて來たのも、又は何とかかんとか惡評を受けたのも、その剛氣がさせたものであらう。だが私の好きなのは氏が人情味に溢れてゐる點だ

つた人があつただらうか。なほ氏が人一倍精力家である事は、日常どんなに前夜の就眠が遅くともキチンと七時には起きて、そして午前中は仕事に熱中すると言ふ事を聞いてもわかつた。人なみなら誰れにでも出來る。人なみ以上に努力すればこそ毅然として水平線上に頭角をぬきんでる事が出來るのであらう。——完——

老虎灘に立つた友情碑

嘗て大連に在住した歌人白水吉次郎氏の物故を悼み友人池内森太郎、武田尊市兩氏が協力して建てた歌碑である、高さ地面より七尺、碑面には

このくにの春のをはりと思へども日かげれば寒し磯山小道

の一首が刻されて居る。森太郎書尊市刻である。近く除幕式を擧行することになつてゐる。

滿洲野

田頭　猛

何處に日の出か、ヨ
チヨイト、日の入りか
廣い滿洲野は、ナ
たゞ遙々と
遙々と、ヨ。」

何處ぞ祭か、ヨ
チヨイト、出て見たが
高粱畑に、ナ
たゞ風ばかり
風ばかり、ヨ。」

秋の滿洲野は、ヨ
チヨイト、この風に
高粱畑に、ナ
ただ陽が赤い
陽が赤い、ヨ。」

明日も日和か、ヨ
チヨイト、西雲
遠い部落にや、ナ
ただ驢馬の聲
驢馬の聲、ヨ。

中國文壇の近狀（二）

大内隆雄

輝く創造の時代

さきの「創造季刊」「創造週報」のあとを受けて、新らしい裝ひの「創造月刊」の第一號は一九二六年の三月に出てゐる。それには成仿吾の「文藝批評雜論」郭沫若の「節奏論」それに張資平の「キユラソー」同じく「密約」等が出てゐて、郁達夫の書いた發刊詞を見ても、單に純粹な藝術運動として出發したものであることがうなづかれる、その「創造月刊」が新しい轉回を示したのは、翌一九二七年の第七號からであると言へやう　すなはち同誌に於いて郭沫若は麥克昂の名のもとに「英雄樹」といふエッセイを發表して居り、又同じ號に鄭伯奇の戲曲「抗爭」（これの日本譯は筆者によつて、曾つて雜誌「滿蒙」で紹介された）が載つて居り、段可情や、王獨淸の作品も載つてゐる。

「英雄樹」の中では斯う說かれた「文藝は時代を率ゐて進むべきものである、だが中國の文藝は時代の遙か彼方に遅れてゐる。個人主義の文藝は老込んでしまつてゐる、だがこの醜惡な個人主義者、醜惡な個人主義者の呻吟が依然として文藝市場を跋扈してゐる。

——酒だ……悲哀……女だ……イムポテンツの頹廢派の醜さよ！

大地の最も深い處に猛烈を極むる雷鳴がする。

諸君はそれを聞いたか！諸君の王宮、諸君の象牙の塔はひつくりかへされるのだ。

諸君に代つて新しく起つ文藝の闘士は今まさに出現しやうとしてゐるのだ。

諸君のボロラッパをでたらめに吹く要はない、暫く蓄音機になつた積りでゐ給へ！

◇

階級文藝は途中の文藝である。それは一つの橋だ——別に美麗な橋ではない——それが彼岸へと掛けられてゐるのだ。

◇

これ等の言葉から、彼らの目指した行方は大よそ窺はれるであらう。そしてその主張の具體化されたものとして、前記の「抗爭」を擧げることが出來る。この一幕物の戲曲は、その內容に於て題材に於て、まさにその時代の所產に適合したものであつた　上海のカフエに働く若い女性、客數人、外國兵を登場人物として、其處に巧に、中國の民衆の抗爭の相手を明示し、それに闘する理解を容易ならしめ、萬人の胸と理性とに訴へてゐる。——これが一九二七年初頭の作品であつた。

斯くして、中國文學は、輝く新らしい創造の段階に這入つたのであつた。

次の號を見ると、成仿吾の「文學革命から革命文學へ」と題する論文が出てゐる。これこそ、中國プロレタリア文學出發の、理論的起點となつたものであつて、實にこの、文學革命から革命文學へといふ叫びが爾後の運動の合言葉となつたのであつた。次項にその大要を紹介しやうと思ふ。

滿洲日報

社説

間島事件の眞相を解剖せよ

隣接親善の癌

間島方面の共産黨匪事件、頻々として勃發し、停止するところを知らぬ有樣なるは日支の國交上すこぶる遺憾である。尤も、共産黨匪事件なるものが果して眞の共匪なるや否や、換言すれば、わが在住朝鮮人を壓迫する手段口實として支那側が一種の苦肉作用からの事件ではあるまいか、とにかく、善良なる在留朝鮮人が共産黨匪の名の下に、または眞實の共産黨匪のために、壓迫せられ、危害を加へられるといふことは、隣接國際間の重大案件であらねばならぬ。ここにおいて、わが外務當局も、三浦課長を特派し、本腰になつて事件の解決に努力せんとしつゝあるが如きは、大に多とせねばならぬところである。

◇

元來、間島地方は豆滿江といふ江水を以て自然的國境となしてゐるもの、これを文化的、民族的に考察するならば、その國境なるものは甚だしく妥當を缺くものといはねばならぬのである。すなはち支那の領土内に多數の朝鮮人が在住するといふの結果、常に問題を惹起しつゝあるのである。民族自決の原則を以てすれば、すくなくとも間島は朝鮮人のものであらねばならぬのであつた。滿洲は朝鮮人の故土であつただけに、殊に吉林省の如きは鷄林の轉訛せるものであり、鷄林の主人公たる朝鮮人は鷄林中島の一局部に逐放せられ、つひに鷄林は吉林と改められたるに徴するも明瞭なる如く、文化的、民族的の考察を以てせば、間島地方の如く現に朝鮮人の居住の多數なる地方に問題の頻發するは蓋し已むを得ぬところとせねばならぬ。併しながら、事實かくの如しとするも日支間に事件の頻發するは決して慶賀すべきことでなく、相互に事實に立脚し誠意を披瀝して、その解決を遂げねばならぬ筈である。

◇

然るに支那側にありては、時に或は朝鮮人を排斥し、壓迫するがための口實手段として共産黨匪事件を云々するのではあるまいかとの疑惑を濃厚にせざるを得ぬを遺憾とするものである。極言すれば在住朝鮮人を抑壓排斥せんがために敢て共産黨匪を云々するにあらずやとの事實さへ看取されるのであるものあるは最も遺憾とせねばならぬところである。若し眞に共産黨化したる不逞朝鮮人の跳梁するが如きものならば、須らく日支兩國は共同の敵として協戮一致、その一掃に努力すべきではあるまいか。然るに支那官憲が、日本官憲の行動せんとするに對しては事毎に、何らか手を觸れしめんとするを嫌ふが如き態度あるは、吾人の支那のために最も遺憾とせねばならぬところである。

◇

ここにおいて吾人は思ふ。間島地方は勿論、支那の領土であるから、文化的、民族的の關係を今日、必ずしも云々するものではないが、併しながら、わが日本臣民として條約上、朝鮮人が享有すべき權益は立派に、これを享有すべく主張せねばならぬことである。すなはち支那の主權は徹底的に尊重せねばならぬが、さればとて國際條約上の權益は相手國をして充分に尊重して貰はねばならぬのである。而して吾人は、間島地方に頻發する共産黨匪事件において、眞に不逞朝鮮人による共産黨事件なりや、または支那官憲のシテ關係による、いはゆる共産黨匪事件なるものなりやを明確にし、共同の敵は共同の敵として日支兩國の協戮一致を必要とするものではあるまいか。吾人は支那側が一時の小策を弄し建設支那、永遠の大策を誤る如きことのなからんことを支那側に對して忠言せんと欲するものである。この意味よりして吾人は、わが外務省が三浦アジア第二課長を特派して大に眞相の調査研究に當らしめんとすることの有意義なるを思ふものである。而して同時に吾人は、この間島地方事件の解決に當り、わが當局が中央官憲もまた地方官憲も、すなはち外務省も出先外務省官憲も、また朝鮮總督府なども、歩調を一にして根本的解決に向つて最善の努力を傾注されんことを希望せざるを得ない。從來、やゝもすれば對策の二途三途に出づるが如く思はしむるものゝあつたのは問題を眞に解決する所以ではないのである。而して支那の時局は、とにかくも一段落を告げ、南京の中央政權と奉天の東北政權とは協調を保ちつつあるのである。この際、この間島地方の共産黨匪案件を根本的に中央政權と商議するも可なり、また當面の應急處置として地方的に東北政權と折衝するも可なり、いづれにしても紙上の抗議のみに滿足することなく抗議する以上は相手方を抗議に屈服せしむるだけの實力を以て眞劍に臨むの槪がなくてはならぬと信ずる。然らずんば徒らに國家の威信を失墜するのみとなることを覺悟せねばならぬ。何は兎もあれ、殆んど年中の行事の如く、それからそれへと頻發する間島事案の根本的解決を期すべく、わが外務省當局の眞劍なる態度を示すに至つたことを認むると共に、吾人は支那官憲の事件解決のため誠意を披瀝せんことを希望すると共に、事件解決の先決問題たる間島地方共産黨匪事件なるものゝ眞相を最も明確に調査研究し政略的に事件の眞相を掩はんとするが如きことの苦肉手段に出でざらんことを支那地方出先官憲に望まざるを得ぬのである。

愈首相の裁決に待つ 明年度豫算案の難點

强硬な海軍補充計畫問題と新規要求復活交渉

【東京特電二十六日發】濱口總理始め政府主腦者は觀艦式陪觀のため西下しそれ等の主腦者が歸京する迄中央政界は無風狀態にあるわけであるが、歸京と同時に目下問題の一、海軍補充計畫問題、二、各省の新規要求復活交渉の二重要大案件に關する折衝が極めて緊張を帶びて來るものと觀られてゐる其うち補充計畫問題に就ては既に財務當局の態度が極めて强硬である旨を小林海軍次官から神戸に於て安保海相に報告してその對策を考究しつゝあり、安保海相は既に就任當時前海相時代の論議紛糾に鑑み飽迄も補充計畫の完全なる實現を計つて部内の統一を强硬なる立場に置かれてあり、これに對して井上藏相は飽迄財源を唯一の論據として海軍側の要求を擊退せんとしこの點に關し濱口總理の諒解を求めつゝある、これに對する濱口總理の意向は減税額をなるべく多額に獲得しうるよう期待しつゝも海、藏兩當局の圓滿なる解決を念願してゐる、かくて首相の立場、藏相の意向、海相の態度は本件に關する限り夫々特殊的性質を帶び來りつゝあるので愈々本案件が政治的解決への手段に訴へられることになれば極めて重要なる波紋を描き出すであらうと觀られてゐる、更に各省の新規要求復活に關聯して重要化せんとしつゝあるのは所謂道路公債問題であり、本案件は失業對策に關聯して考慮されてゐる、反面に於て財務當局が豫算査定に際し失業救濟關係の新規要求に對しても大斧鉞を加へたためにこれを補塡する意味に於て閣内においても相當考究されて居り、その追加豫算計上が實現されんとする模樣であるが、その經費三、四千萬圓の財源たる公債問題が却々重要案件となつてゐる何れにしても右二案件は十一月に入ると共に現政府の最高首腦部間に於て極めて白熱せる意見が交換されるであらう、これに對し濱口總理が果して如何なる形式内容によつて裁決するか極めて注目されることゝなつた

失業公債三千萬圓 藏相、發行を決意

追加豫算に計上せん

【東京二十六日發電通】明年度に於ける失業救濟事業公債發行問題に對しては最近失業者數が依然增加の傾向を辿りつゝあると與黨並に內相等の熱烈な要求に鑑み井上藏相も從來の態度を變更し非募債主義の純理論から離れて客觀的情勢に順應することに決意し既に內相に對して失業公債三千萬圓發行を追加豫算に計上すべき內約を與へてゐるとのことである、卽ち內務省は明年度豫算に新規要求として地方失業救濟事業勞力費補助四百萬圓を計上する豫定であつたのにも拘らず今回提出の豫定概算書には左の補助費は一文も揭げてないのは前述の內約が成立したからであると言はれてゐる、斯く趣りくさい方法を採つたのは內務省のみに最初から除外例を設けては軍部その他の節減が不可能となる惧れあるので追加豫算にしたのだと

地租營業收益税 一割方減税

民政黨內部の意嚮

【東京廿六日發電通】減税の種目に就ては最近各方面に色々の希望や意見が起つてゐるので民政黨では來月上旬の豫算閣議前に黨としての意見を纏め政府に進言することなりこれが爲め武內委員長始め委員幹部が觀艦式より歸京するを待ち具體減税委員會を開き具體案を作成する筈であるが、目下大體一致せる點は左の如くである

一、間接税に於て砂糖、織物消費税の輕減

一、國税として地租並に營業收益税の輕減

而して其の實行方法としては

一、營業收益税は免税點はその儘とし一律に一割引下げ約六百萬圓の輕減を爲す

一、地租も前項と同樣にし約七百萬圓を輕減す

皇太后陛下

慈惠病院行啓

【東京廿六日發電通】皇太后陛下には來る七日芝公園の東京慈惠會病院に行啓、同院に入院中の氣の毒な患者を親しく御慰問遊ばされる旨御內沙汰あり同病院では恐懼其の日を御待ち申上げてゐるが近く下檢分の上正式に行啓仰出さるべしと

永井次官

三十日來連

【青島特電廿六日發】永井外務政務次官外三名は本日午後一時入港の大連丸で上海より來青した、廿七日朝の列車にて濟南へ赴き廿八日夜歸靑、廿九日午後五時出帆の長春丸で大連へ向ふことに決定し同地に四日滯在の上海路天津へ向ひ北平を巡視の上鐵道にて奉天經由十一月十日までに京城に赴く豫定である

資本主義國の壓迫と戰ふ

勞農の宣傳

【ハルビン特電廿六日發】ソウエート聯邦が對外貿易にダンピングをしたといふので各國ではソウエート國營機關の活躍を阻止しやうとするの傾向にあるのでソウエート當局は資本主義各國が挑戰的に世界經濟界にソウエートの國外貿易の

露支會議と白系取締り問題

哈府議定第四條に關する要求と言分と駁引　（上）

外國製軍艦姿を沒し 悉くこれ國產軍艦

西洋模倣消化の時代は去つた 觀艦式後安保海相語る

【神戸二十六日發電通】觀艦式後安保海軍大臣は左の如き所感を發表した

余は今回の特別大演習に扈從し新たに改裝成れる巡洋戰艦霧島に陪乘の光榮に浴したが天皇陛下に置かせられては海上數日間日夜御寸暇もなく親しく大演習を御統監遊ばされ、を拜しその御精勵の程は全く恐懼感激措く能はぬものがあつた、玆に余はこの御聖德を國民に傳ふるの責務を感ずると共に幾多の將來ある青年諸子が良く我が建國の精神に思ひを致し修養是れ努められんことを切望する

◇

さて神戸沖に於ける觀艦式は明治四十一年以來實に二十二年目の盛儀で今回は完成せる一萬噸巡洋艦四隻その他新式驅逐艦、潛水艦等の參列を特色としたが余は過去十數回の我が國觀艦式を通覽して最も特色と認むる處は往時我が軍の大部分を占めし外國製軍艦が漸次その姿を沒し去ると共に國產軍艦の暇々乎として現出せることこれである、試に今回の觀艦式にこれを見るも修理中にして參加せざる金剛を除けば外國製として參列せるもの僅かに常盤、春日等に過ぎず我が海上國防の重責を負ふものの悉くは是れ國產軍艦なるを知るべく邦家の爲め誠に欣快に堪へぬ次第である、況んやこれ等の軍艦が列强のものに比し何等の遜色なきのみならず寧ろ彼等をリードするの傾きに在るに於てをや

◇

我が海軍は往時の兩洋模倣時代を過ぎ今や正に獨創時代に到達せるを見ると共に諸般の事業又既にこの域に達し又達せざるべからざるものと考へる、而してこの獨創事業は青年諸君に俟つ處大なるを思ひ帝國將來の爲め青年諸君が愈々盡忠報國の念を固くし最近智識の開發に努められんことを望んで止まぬ

朝鮮の人件費五分天引き

一千萬圓の財源不足から三百萬圓を捻出する

【東京特電廿六日發】朝鮮總督府の明年度豫算は約一千萬圓の財源不足を來してゐるが、これが捻出につき財務當局の一方策として人件費五分の天引を決定したが、該案は直接の官吏減俸を意味するものではなく、六千萬圓の五分三百萬圓を人件費より節約せむとするもので明年度總督府地方廳ともに事務官以下の缺員を補充せざること

東北に直屬して石軍は中央歸順

滯奉中の石友三氏と張學良氏の重要協議

石友三氏は既報の如く廿四日來奉萬福麟氏宅に寶寓し張學良氏は軍事廳長榮臻氏等を接伴員として懇談に歎待し廿五日張氏は石氏を引見し石氏部下軍隊の東北歸順に關する重要協議を遂げたがその內容は尙不明なるも

雜色軍 中の二大勢力で韓氏とは數年來同一步調を執つてゐたが過般の戰爭には韓氏が中央派たりしに拘らず石氏は閻馮兩氏に加擔し反蔣派の有力軍と目せられてゐたが反蔣派の瓦解と共に石氏の立場は困難となり張學良氏の支配に服して間接に中央に歸順する態度を示すに至つた、石氏は現在尙ほ七萬の大兵を擁し目下平漢線の彰德、新鄉間に駐屯して居り卽ち平漢線の東北軍と聯接してゐる、張學良氏としては石氏とは數ケ月前から相當の聯絡あり今七萬の同軍を收容することは軍費支給、駐防地點等に相當の

困難は あつても東北側の勢力をそれだけ增大することになるから相當の犧牲を拂つても石軍を抱擁する意思あり大體同軍の東北直屬は實現するものと觀られてゐる

南京側に於ては石友三氏は東北軍と協同して山西攻略に當ると宣傳して居り過日石軍が石家莊方面に於て山西軍の一部隊の武裝を解除した事實もあるが石友三氏と閻錫山氏等とは今尙相當の聯絡ある模樣であつて殊に鹿鍾麟氏とは密接なる諒解があると傳へられ今後石友三氏の存在は東北と中央反蔣派の三角關係に介在して相當重要なる地位を占むるであらうと觀られてゐる（奉天電話）

浦鹽鮮銀問題の解決は一月頃か

邦人の銃殺說は無根

【ハルビン特電二十六日發】浦鹽鮮銀支店のロシヤ官憲調査事件は旣にソウエート側哈府委員の手によつて一件書類を本月末までに作成し哈府に送附することになつたが、本問題の解決は早くて來年一月頃になるのであらう、なほチエッカ(?)の審問の爲め拘禁されてゐる日本人十名のうち二名は銃殺に處せられ他は流刑の宣告を受けたやうに報道されたが、全然事實無根であつてロシヤはいかに事件が紛糾しても銃殺にはしない模樣である、それはソウエート裁決の違犯であるばかりでなく既に犯跡の明瞭にして嫌疑を深くしてゐる今日いたづらに日露の國交を惡化せしめることはしないからである、又かゝる事實は一應報道されてゐないと否定してゐる

吳鐵城氏と張繼氏來奉

學良氏と協議

吳鐵城氏は張繼氏と共に二十五日夜北寧線で北平より來奉した、張學良氏に平津地方の狀況を報告し且つ黨部問題につき協議したのち五六日內に二氏同伴して南京に歸る筈

天津浦口間の列車直通せず

【天津特電廿五日發】天津、浦口間の直通列車は未だに開通するに至らない、東北軍は天津、德州間を運轉せしめて其收入を影響へる一方韓復榘氏は德州、濟南間に運轉

滿洲粟輸入の制限は未定

內鮮米價對策協議會から湯村總督府農務課長歸來談

【東京特電廿六日發】內鮮米價對策協議會に東上中であつた朝鮮總督府湯村農務課長は語る

內鮮米價對策協議會に出た序に大藏省と米價對策に基く低資融通について協議した、農業倉庫の規定の外一千萬圓要求は實現に時日を要するらしい、金融組合の低資も低資委員會の結果によるの他はない、何れにしても米價對策が根本的に決定の上であらう、滿洲粟輸入制限については農林省は頗る强硬な主張をしてゐたが、愼重に考慮を要する大問題であるといふのである大體四つの理由を述べておいたので大分緩和されたやうである

一、粟常食細民をして三圓の高い粟を食はすことになる

二、粟を常食とする慣習上急にやめられないこと

三、粟の輸入制限によつて總督府の關稅收入が減少すること

四、粟の輸入期は三、四、五月であるから時期の問題も考慮すること

尙總督府においても財務當局と協議決定する筈で、數量を制限するか、全然輸入を防止するかは未定であるが防止するといふことは恐らく不可能なことゝ思はれる

東北森林視察

南京より派遣

某所着南京來電に依れば南京中央模範林區管理局は近く東北森林考察團を派遣し東北各省の森林を調査せしむることになつたがその目的は東北が豐富なる森林を有するに拘らず保護宜しきを得ず亂伐せられ居るを以て之を防止し適當なる保護を加へしむることゝ日本との鴨綠江採木公司の契約滿期が近づいたので之が對策を研究することにあると【奉天電話】

實驗發生學論文獨逸學者が發表

萬國動物學會に出席した田鄕勝彌氏歸來談

【ハルビン特電廿五日發】廿四日の歐亞直通連絡でベルギーの萬國博覽會審査のため赴歐してゐた田鄕勝彌氏と大阪商業會議所の菅納武太郎氏、洋菓子研究の三宅克巳氏夫妻、帝國ホテルの洋菓子研究の藤田、脇谷兩氏等一行七名到着、普通より五時間遲着したために同夜十時四十分發列車で歸國したが一行はウラル山で食堂車が切離されたので車中食事をとることができず、いづれも寒さと飢で困つたらしいので列車が到着するや直に名古屋ホテルに休憩し食事のために出掛けた程である、田鄕氏は語る

ロシヤの物資缺乏は非常なもので七月十五日白耳義へ向ふ時よりも甚しくなつた、リエーヂの博覽會に出品した日本工藝製品の好評は今更ら述べるまでもなく

大賞 が十一、金牌が二十件ありいづれも工藝、水產その他の組合に贈られた、日白貿易として將來見込のあるは日本茶でグリンチーの聲價はヴイタミンを含有してゐるといふので醫師界はさから各家庭の主婦がこれを歡迎したので今後商取引はあるものと確信する、なほ蟹の罐詰を會場で試食せしめたところ大好評を博し在品は全部賣切れた上に英國から輸入した程であつた、それから私は九月四日から伊太利ベニスの

近郊 パドワで萬國動物學會が開催されたので出席したが歐米各國、ソウエート聯邦、支那印度、パレスタイン等からの學者代表約五百名が集り會は最新の研究を七部門に分ち討論したが、獨逸ウイルヘルム研究所の遺傳學說で實驗發生學（これは接木のやうなもので動物の胃とか頭を切開し他のものをもつて移すといふ、恰度若返り法の研究に似たもの）論文が發表されたが各國學者の注意を惹いた、ロシヤからも有名な動植物學者が參加してゐた、五年後の

會議 はポルトガルであらう日本人の好む鮪がスペイン、伊太利等の各國で研究され學術的論文の發表があつたが非常に滋養に富んでゐることが證明された

食料品は日本が高い

藤田氏談

なほ藤田氏は語る

私はホンの小部分である洋食と關係の菓子製法及材料等について佛蘭西その他を視察して來たが、翻つて學問的に又は綜合的にお話することはできないが、どこの國でも豐富な材料が使はれてゐて日本などでこれを眞似ては到底引合はず、十のものは六、七で濟されば日本現在の物價でとうていできないことに驚いた、西洋の

物價 は需要量の多いだけ日本で使ふよりは安くなるのであらうが、あのまねをしては引合はない、これは日本の輸入關稅が高いためにある、シユクリーム一つ作るにしても西洋の材料安には及ばない、從つて菓子も料理も歐米のメニユー材料に比較して日本は常に輕少であることは殘念である、この調子ではいかに政府が外人遊覽客を吸集するための洋式ホテルの改善とサービスの改革をはかつても肝腎の食物が西洋人を

滿足 せしめるだけのことができない時は自然遊覽團體に不平を懷かしめる結果となるから西歐人を十二分に滿足せしめる食料品の材料安を根本から改める必要があると思ふた

東鐵新換算率

【ハルビン特電廿六日發】東鐵は十一月一日から百金留を百四圓三十錢百圓を九十五金留八十八に改定する

吉黑經營開發

羅文幹氏の活躍

【ハルビン特電二十五日發】羅文幹氏はハルビンに銀行、鑛業、森林事業を經營科目とする資本金五千萬元四分の一拂込の法人組織の有限公司を設立し吉林、黑龍の經濟開發と外國の經濟侵略に對抗せんとする案をたて公司開設に關する定款を作成し特區行政長官公署に目下許可申請中である

り南京政府の命令は僅に韓莊、浦口間にだけにしか及ばない、鐵道部では頻りに戰後の交通整理を宣傳して全線の收入を政府に收めようとしてゐるが、東北軍及韓復榘氏が承諾しそうにも見えないので鐵道は當分三段に區別されて運轉するより他に方法がない、蔣介石氏は之にかんがみ韓復榘氏を安撫へ轉任せしめやうとしてゐる

勞農特產機關まだ活動せぬ

【ハルビン特電二十五日發】大豆出廻り期にはいつたので特產商はいづれも歐洲市場の狀況に注意を拂つてゐるが、外國筋で最も活動してゐるのはワッサルドで、ソウエート特產輸出機關は未だ準備中で手を出してゐない、フランス系のドレフスも赤手(?)に形勢を觀望し三井、三菱、日清の各大手筋は察し歸哈して語る

本年の作柄は申分ない、十三パーセントの品質ではないかと思はれ、既にワッサルドは浦鹽に駐在員を常置し安い大豆を歐洲に仕向けやうと活動を開始してゐる、現在の市價は不引合といふ程ではない、廿三日倫敦はトン三志九片でチリ安の模樣であるが、北滿市場も一布度哈洋元十六錢に暴落した、東鐵が特產荷主を招待して意見の交換をしたのはよいことで、浦鹽エンゲルシエールドの船積、荷繰も將來は便宜を與へることになるだらう

安樂椅子

ハルビンの夜を...

本日廳報を添ふ

聖上陛下　けふ東京還幸

十日間にわたる黒潮洋上の御軍務を御終了

【東京二十六日發電通】天皇陛下には去る十八日東京御發輦、ロンドン條約御批准後わが海軍が最も大規模な想定の下に行つた本州西南洋上の海軍大演習を御統監、引續き江田島海軍兵學校へ行幸、次で神戸沖における大觀艦式を擧げさせられて十日間に亘る黒潮洋上の御軍務を終へさせられ、いよ〳〵二十七日東京に還幸あらせられる、陛下には二十六日午後二時半神戸港を後に御召艦霧島にて御發航、同夜は遠州灘海上に送らせられ、二十七日午後一時三十分横須賀に御入港、同二時三十分横須賀驛御發車、同三時四十五分東京驛御着宮城に還幸あらせられる御豫定である

秩父宮殿下　「アジアの嵐」台覽

【東京廿六日發電通】秩父宮同妃兩殿下には廿六日午後二時から御在京各皇族殿下と御招待のうへ勞農ロシア事情を寫した映畫「アジアの嵐」を台覽あらせられた

陛下御動靜　宮内省發表

【東京二十六日發電通】本日海上平穩御豫定の如く午前九時三十分神戸御出港、同沖に於て觀艦式御親閲次で軍令部長をして演習につき講評をせしめられたる後勅語を賜ひ終つて演習參加の海軍士官陪觀の文武官その他に賜饌、足柄、妙高、赤城、各賜饌艦には皇族を差遣はさる天機御麗しく午後二時三十分神戸沖御發航横須賀に向はせらる

勅語

【神戸二十六日發電通】大觀艦式後　天皇陛下より賜りたる勅語左の如し

勅語

朕茲ニ親シク大演習ヲ統裁シ且ツ艦隊ノ威容ヲ閲シ士氣彌々旺盛ニシテ作戰用兵ノ進歩著シキヲ親　朕深ク是レヲ嘉ス惟フニ宇内ノ大勢ハ進展シテ熄マス汝等倍々奮勵シ協心戮力上下一致以テ國防ノ大任ヲ完セムコトヲ期セヨ

京都軍凱歌を揚ぐ

混戰に終始した京都對全滿劍道戰　見事な並河五段の奮闘

武德會京都支部對全滿洲劍道對抗試合は廿六日午後一時から滿鐵大連道場で擧行された戰前兩軍選士は社員倶樂部前にて記念撮影を行ひ零時五十分入場、定刻粟野滿鐵學務課長挨拶の辭を述べ直に試合に移つた、滿洲軍先鋒西先づ五人を拔いて氣を吐き、京都野村二段四人を拔いて漸く接戰、その後滿洲軍は宗三段が五人、光富三段が四人を拔いて斷然優勢となり、更に絲田四段三名五段一名を倒し勝ひは滿洲軍の大勝に終るかと思はれたが、京都軍角田五段三人を拔き、大將並河五段は先づ滿洲安齋五段を倒し續け樣に敵に一本も許さず小手に突にと妙技を揮ひ滿洲軍大將高野五段まで六人を撫切に倒し見事な凱歌を揚ぐ、閉戰同四時四十五分、審判小川、小關高野三範士、大森敎士

京都		全滿洲
初段 藤井（面	胴面）初段	西
同 奥村（	胴二）	同
同 新山（小手	面胴）	同
同 木村（胴	胴二）	同
同 小泉（胴	胴二）	同
二段 森田（胴小手	胴）	萩原
同 同（小手二小手）同		河合
同 （	小手面）同	同
同 小島（胴	小手面）	同
同 野村（胴面	）	同
同 （小手面	胴）同	安藤
同 （面二	胴）二段	柳澤
同 （面二	同）同	武宮
同 （	胴面）三段	宗
同 前田（小手	面胴）	同
同 池端（	胴二）	同
同 油井（胴	面胴）	同
同 肥後（小手	面胴）	同
同 前崎（胴面	胴）	同
同 （面小手	）同	竹内
同 （面二	）同	篠原
同 （面 小手面）同		荒川
三段 坂本（小手面	）	同
同 田中（面	面小手）同	只熊
同 （面二	面）	同
同 （	面小手）同	湯口
同 岡村（小手二	面）	同
同 （面小手	面）同	是枝
同 廣瀨（面	小手二）同	光富
同 山内（面	面二）	同
四段 松森（	面小手）	同
同 奥村（面二	面）	同
同 （小手二	）四段	竹下
同 （	小手胴）同	山口
同 林田（面二	）	同
同 （面胴	）同	熊本
同 （面	面二）同	船田
同 辻丸（面	小手二）	同
五段 吉留（面	小手面）	同
同 幸田（	小手二）	同
同 角田（小手胴	）	同
同 （小手胴	）同	肱岡
同 同（小手胴	面）同	井上
同 （胴	小手二）同	本多
副將五段 杉浦（小手面小手	）	同
同 （小手	面二）五段	安齋
大將五段 並河（面突	）	同
同 （突小手	）同	山本
同 （小手二	）同	中西
同 （小手二	）同	畑生
同 （面突	）副將五段	星野
◎同 （小手二	）大將五段	高野

子供の天下

きのふの電氣遊園

東支鐵道に榮轉する日本語博士

卅五年も日本語研究　四迷の指導で金色夜叉も讀む

【東京特電廿六日發】日本語博士で有名なロシヤ大使館のスパルイン博士は近く東支鐵道理事として榮轉することに内定し、二十三日附モスクワ本國政府に承諾の電報を發したが、目下病臥中の露國大使の健康回復を待つて

正式發表

赴任することゝなる模樣である、スパルイン博士は大使館書記官で、傍ら濠洲極東大學の教授をかねてをり、日本語研究に着手してから滿三十五年になるといふ外國人には珍しい記録保持者である、今より約四十年前當時のセント・ピータースブルグ帝國大學の東洋科から日本語研究のため留學を命ぜられて來朝し、漢語學の先生についたり獨學をやつたりしてゐるうち東京外國語學校の講師となり、二葉亭四迷氏の指導により金色夜叉等を讀み始めたもので、從來引續き日本語の研究に沒頭してゐる人で

我國朝野

に非常に知己多く、二十七日午後五時から大阪ビルに於て永井柳太郎、小村欣一、川上俊彦、近衞秀麿、市川左團次氏等朝野の有志約七十名により盛大な記念祝賀會が催されることゝなつてゐる、國際關係の複雜した東支鐵道理事として同氏の總裁は鮮かなものあるべく、期待されてゐる

廿錢の宿料さへ　拂へない慘めさ

いよ〳〵窮迫の邦人失業者　社會館のお客減る

大連市内の旅館業者が不景氣をかこつけふこのごろ、木賃ホテルの市社會館宿泊所も同じ樣に宿泊人が昨年より一層方減小して寂寥さしてゐる、昨年十月は毎日四十九人平均の宿泊人があつたが本年同月は平均四十五人くらゐ、さころが同じ親類筋だが無料で泊めてくれる智光院にはこの頃毎日七十人前後の宿泊人があり昨年より二倍半の激増振りを示してゐる、これは明かに市内にルンペン生活を送る邦人失業者の懐工合が愈々窮迫して社會館の二十錢の宿泊賃も拂へなくなつたためである、現に今まで社會館に泊つてゐた連中が續々智光院に移つて行く、市宿泊料の一年の揚り高は大體三千三百圓許りあり裕に宿泊所の維持費以上の料金をさつてゐるさいふので宿泊賃値下の聲が喧しく叫ばれて來た

絶頂を極める上海の繁榮

地價も人口増加に從つて騰貴　今ぢや世界第六位

【上海特電廿四日發】上海の繁榮は一九三〇年に至りその絶頂を極めるに至つたさいはれる、即ち人口は一九二〇年、百五十八萬人、一九二八年には二百七十一萬人、僅々八年間において百十三萬人の増加を見て、この比例で推すと一九三〇年末には約三百萬となり、この増加率はニューヨークの繁榮最高期にも見られぬ素晴らしい高度なもので

現在は

ニューヨーク、ロンドン、ベルリン、パリ、シカゴについで世界第六位の都會となつてゐる、一方繁榮のバロメーターともいはれる地價も人口に匹敵し、十年前の倍となり、上海の銀座南京路の地價二百坪（七千二百六十平方フィート）が二十萬兩を

金儲けの宿題

世界にその名を謳はる譜歐米財傑フォード、スチンネス、ロックフエラー、ガメージの四氏が赤裸々に叫ぶその富豪術！又と得られぬ玉章、キング十一月號に發表し！

遙かに超える有樣で、日本人の住む吳淞路でさへも二百坪十萬兩の値を唱へ、上海黄金時代である、然し上海の繁榮期は絶頂に達しこれ以上の膨脹繁榮はこゝ數年の如

住吉、芦屋各驛　拜觀者で滿員

【神戸二十六日發電通】東海道線沿線の住吉、御影、芦屋各驛は觀艦式場を眼下に見下す屈竟の拜觀場所さて一區間の切符を買込んで旅客然として入場しては驛のホームや各驛に留車してゐる貨物列車の屋上に攀上り悠々望遠鏡を取出して居る者が多い、六甲山附近の別莊は時を得顔に多數のお客を呑んでゐる、流石は傾斜地の神戸市風景である

今夜の記念放送　大連で中繼

一般聽取者に傳へる

ロンドン條約成立記念三國首相大統領のラヂオ放送はいよ〳〵廿七日夜行はれることになつたが、大連放送局でも中繼によつてこの記念すべき放送を一般聽取者に傳へることゝなつた、そのプログラムは左の如くである（時間は滿洲時間）

二十七日午後十時十五分放送開始、午後十時廿分より洋樂、同十時五十分より演説（順序濱口首相、アメリカ大統領、イギリス首相、松平駐英大使）午後十一時卅五分より洋樂（英、米、日の國歌、英、米兩代表の演説翻譯）

大觀艦式　空中分列式　滯りなく終る

【大阪二十六日發電通】大觀艦式空中分列式に參加する海軍飛行機七十二機は昨夜來木津川飛行場に機翼を休めてゐたが、二十六日午前六時出發準備を整へ八時十分一機づつ離陸編隊のうへ大阪上空を一周して二百米突の高度を保ち觀艦式上空に至り、航空母艦加賀艦上枝原司令の指揮下に御召艦上五十米の高度を通過し空中より大元

公費の宴會ご法度

愈よ苦しいか内務省のお臺所　各府縣知事にお布令

【東京特電二十六日發】清く明るい政治をスローガンとして生れ出た現内閣は來年度豫算では各省大臣が虎の子のやうにしてゐる機密費に三割減といふ大鉈を揮つてあつさばかりに世間を驚かしたが、内務省あたりのお臺所ではよく〳〵窮屈になつたと見えて二十五日附潮内務次官から各府縣知事に對し「今後公費による宴會の催し一切罷りならぬ」とのきついお布令が出たこれでいよ〳〵緊縮内閣のもとでは官費の宴會は當分見込みのないことゝなつたが、こんなお布令は從來餘り例のないことで珍しがられてゐる

6A―3　實業勝つ

球界の掉尾を飾った　實滿OB野球戰

球界最終の試みたる本社主催の實滿OB戰は廿六日午後一時三十分より滿倶球場に於て擧行された絶好の秋日和にファン、メーンスタンドを埋めるの盛觀午後一時三十分山西滿鐵地方部次長の始球式後宮武（球）上原（壘）兩氏審判の下に滿倶先攻で開始第三回裏實業先づ四點を上げたが四回表滿倶二點をかへして接戰第六七回裏實業一點づゝ入れて再び優勢となり九回裏滿倶最後の攻撃も空しく僅かに一點をかへせしのみ結局六A對三で實業勝つ

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
得點										
滿OB	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
實OB	0	0	4	0	0	1	1	0	A	6A

△第一回　滿OB二神右飛伊藤三遊間單打に出で二盜山本投飛伊藤三盜して刺さる▲實OB安藤三個失に出でたが平田の三飛に二壘封殺平田二盜中島四球平田中島重盜（安藤中島の代走）福山右飛清田三飛

△第二回　滿倶兒玉遊飛飯投に出で逸球に二進竹中三個失石關遊飛に走者進み北川の遊飛に兒玉三本間に挾殺この間それ〴〵進んだが森田三振▲實業池永一邪飛田中投飛清水左飛

△第三回　滿倶大野投強襲單打二神右飛伊藤三個失に大野二進山本三振北勝大野三盜せんとして三二間に挾殺される▲實業（竹中退き兒玉投手となり北川一壘に森田二壘に大門右翼に入る）田邊右中間三壘打に出で安藤の右前單打に田邊生還安藤投手暴投に二進平田三個惡投に安藤三進平田二盜（正田一壘に入り大門退き北川右翼となる）中島遊野選に安藤生還中島二盜福山の二個に平田中島ともに生還平田中飛池永投越單打田中中飛

△第四回　滿倶兒玉左前單打正田二遊間單打に兒玉一擧生還石關遊飛に正田三進北川の左犧飛に正田還り森田三飛▲實業清水左飛田邊三壘右拔く單打安藤中飛田邊二盜に刺る

△第五回　滿倶大野中飛二神遊飛伊藤左飛▲實業平田左飛中島左飛失に出で二進福山左飛中島三盜せんとして三三間に挾殺

△第六回　滿倶山本二飛兒玉遊正田二飛▲實業清田遊飛失に出でたが池永の二飛に二壘封殺平尾四球清水遊飛失に一死滿壘田邊四球に池永押し出しの一點安藤左飛平田中飛

△第七回　滿倶（田中退き平田投手となり平尾三壘に入る）石關中飛北川二遊間單打森田遊飛大野の三遊間單打に北川一擧二三進し大野二盜オーバーランして刺さる▲實業中島遊飛失福山四球清田投前のバントに走者進み池永の投ゴロに中島本壘を衝いて生き平尾一個

△第八回　滿倶二神二個伊藤三個失山本三壘左拔く單打に伊藤二進伊藤二壘牽制球に刺され兒玉投飛▲實業（石關二壘に入り伊藤捕手に北川左翼に森田右翼に交代）清水三振田邊遊飛失安藤中前ゴロに田邊二壘封殺平田四球中島右飛

△第九回　滿倶正田右前單打石關遊飛トンネル北川の右前單打に正田還つたが森田の左ゴロに石關三壘に封殺大野二飛に森田封殺二神投直飛

滿OB	打	得	安	犧	盜	振	球	失
8 二神	5	0	0	0	0	1	0	0
72 伊藤	4	0	1	0	0	1	0	0
6 山本	4	0	1	0	0	1	0	0
41 兒玉	4	1	1	0	0	0	0	0
1 竹中	1	0	0	0	0	0	0	0
9 大門	0	0	0	0	0	0	0	0
3 正田	3	2	2	0	0	0	0	0
24 石關	4	0	0	0	0	0	0	0
9397 北川	3	0	2	1	0	0	0	0
349 森田	4	0	0	0	1	0	0	0
5 大野	4	0	3	0	0	0	0	1
計	36	3	10	1	1	2	0	6

實OB	打	得	安	犧	盜	振	球	失
6 安藤	4	5	1	1	0	0	0	2
51 平田	4	2	1	0	3	0	0	0
8 中島	4	2	1	0	0	1	0	2
7 福山	3	0	0	0	0	0	0	1
4 清田	3	0	1	0	0	1	0	0
9 池永	4	1	1	0	0	0	0	0
1 田中	2	0	0	0	0	0	0	0
5 平尾	1	0	0	0	0	1	1	0
3 清水	4	1	2	0	0	1	0	0
2 田邊	3	1	1	1	1	0	1	0
計	33	6	4	1	5	1	5	5

▲三壘打―田邊一
▲逸球―石關一
▲試合時間―一時間五十五分

伊藤公二十二年祭　ハルビンで執行

【ハルビン二十六日發電通】故伊藤博文公の二十二年祭は二十六日嚴肅に擧行された

痴呆性病や梅毒性患者に耳よりな話

マラリヤ弱毒菌注射成績良好　旅順醫院で試驗

關東廳旅順醫院ではかねて計畫中だつた「マラリヤ弱毒菌」をこのほど飛行機によつて九州大學より取寄せ二名の患者に試驗的注射を試みた、未だ一回の治療で的確な成績は見られないが、經過頗る良好である、痴呆性病又は梅毒性の疾患には最近著るしき效果あるものとせられてゐるので成績の如何によつては一大福音である、また同院では人工氣胸療法といふのを行つてゐるが、この療法は肋膜の中へ空氣を入れ肺臟を緊縮せしめつゝこの間に療治を爲すもので結核療法として最も新らしき治療方法である

慶應一勝　五A對零

對明大一回戰

【東京廿六日發電通】慶明野球第一回戰は午後二時より明大の先攻にて開始、五アルファー對零で慶應一勝した、閉戰三時三十七分、バッテリー明大八十川、赤木、井野川、慶大宮武、岡田

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慶應	2	1	2	0	0	0	0	0	A	5A

英國經濟使節　豐紡工場視察

【東京二十六日發電通】英國經濟使節一行は三十日來朝の豫定であるが、一行中の紡業關係者等は來月十二日愛知縣下豐田紡工場を視察する事となつた、同工場は豐田式自働紡織機を使用して居り同機に依る時は女工一人當り五十臺を運轉し得る高度の能率を發揮し得て一行の注目を惹く事は明かである

世界の失業者　一千五百萬人

【ゼネバ二十五日發電通】當地の萬國勞働局が今日發表した最近の統計に依れば世界の失業者總數は千二百萬乃至千五百萬人である

人命救助賞與

準據第二十區において去る九日中國人の溺死せんとするのをフエンダー上に飛び降りて救ひ出し人工呼吸を施し蘇生せしめたと云ふかどにより黒島丸船長吉成鐵次、水夫鈴木治二に對し滿鐵より金一封を賞與した

爆發慘事

マ炭坑に　百名が生埋め

【フリードリヒスタール（アロシヤ）二十五日發電通】二十五日又復獨逸マイパッハ炭坑に爆發慘事起り死者百名と推定されてゐるが、かくではあるまいと見られてゐる

既に十六名の死體が發掘されなほ九十名が生埋めとなつてゐる、爆發の原因は未だ不明であるが坑内で火災を起し爆發に至つたものらしい

獨炭坑犧牲者埋葬

【アスドルフ二十五日發電通】過般のウイルヘルム炭坑爆發犧牲者二百六十二名の死體は本日埋葬された

けふから十日間　早大臨時休校

教授會で協議の結果

【東京二十六日發電通】早大の盟休事件は學校側の緩和策も効を奏せず文部省より警告を發せらるゝ形勢もあるので、學校側では二十六日午前十時より恩賜記念館に教授會を開き協議の結果、二十七日より十日間臨時休校するに決し、高田學長が來月二日鎌倉より歸京するを待つて善後處置を講ずる事となつた

清明寮に窃盗

二十五日午前六時ごろ大連北大山通十一番地清明寮内へ何者か忍び入り清水光次の室から現金三十二圓及び前田久吉の現金二十圓を窃取逃走した犯人あり大連署で嚴探中

發動漁船衝突

廿五日午後七時過ぎ西灘りにおいて滿灘の際發動漁船大平丸は漁艇機船に衝突、船首を破壞した損害原因目下調査中

(一)　第八千七百九十四號　滿洲日報　(月曜日)　昭和五年十二月廿九日

滿洲日報　夕刊　十二月二十六日

發行人 木下庄太郎　編輯人 山口〓　印刷人 鈴木〓二郎　發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

我海軍の精鋭を集め光榮に輝く大觀艦式

大元帥陛下の御親閱を仰ぎ　けふ神戸沖の偉觀

（神戸二十六日發電通）昭和五年海軍特別大演習觀艦式は今二十六日神戸沖に於ていとも盛大に擧行された、明治元年大阪港天保山沖で行はれて以來十五回目の觀艦式で參列艦艇は百六十五隻、總噸數七十萬三千噸、航空機七十二臺我が海軍の精鋭を集めた大艦隊は威風堂々茅海を壓した、此の日晩秋の氣澄み天空高く紺碧に晴れ渡つて波靜かに絕好の觀艦式日和である

御召艦に天皇旗飜り　皇禮砲裡に御親閱　空には高く飛機の爆音

三日間にわたる海軍大演習を御統監、昨夜神戸港にて御召艦霧島に御假泊遊ばされた　聖上陛下には午前九時海軍樣式大元帥の御正裝にて後部中甲板御座所に隣れる將官公室に出御、御陪乘の各宮殿下を始め奉り安保海相、谷口軍令部長、大演習觀艦式指揮官山本中將、野村吳鎭守府司令長官、藤澤鎭海要港部司令官、高橋兵庫、柴田大阪の兩知事、黑瀨神戸、關大阪の兩市長、本島艦長並に濱口首相以下陪觀の諸員、在留外國武官各國神戸領事等に拜謁仰付られた、かくて午前九時半いよ〳〵浮標を離れた御召艦霧島は金色眩ゆき天皇旗を艦頭高く飜へして第一船路より出港、南防波堤外に奉迎の第二艦隊飯田中將指揮の「足柄」御先導申上げ「妙高」「那智」「羽黑」の三艦供奉して式場に向はせらる、この時觀艦式旗艦陸奧先づ皇禮砲の火蓋を切るや各艦これに續き二十一發の皇禮砲は殷々として轟き渡り濛々たる砲煙は遠く海波を壓して暫くは壯絕極まりなき光景を展開した、遙かに白煙立ちこむる洋上には東西六哩、南北三哩に亘つて戰艦陸奧、榛名、山城の戰艦を始め百六十五隻の艨艟が滿艦飾を施し七列の艦列を布いて御親閱をお待ち申し上げてゐる、やがて御召艦が白浪を蹴立てゝ式場に入れば陛下には便殿を出御「君ケ代」奏樂裡に山本指揮官の御先導にて前艦橋の玉座に立たせ給ひ御召艦は第一列「陸奧」第二列「赤城」兩艦の間を東航し東端で左轉、更に左轉して第五列と第六列の間を進航、この間各艦は御召艦の近づくにつれ一發又一發皇禮砲を發射し「君ケ代」を吹奏して全艦員「萬歲」を奉唱する、この頃大阪神戸より飛行機七十二臺が編隊で飛來翼を列ねて式場上空に勇壯極まりなき空中分列式を行ひ空の爆音と海の砲聲、海山打ち震ふばかりの壯觀を呈した

優渥なる勅語下賜　賜饌の三艦へ御名代宮

かくて約一時間餘にして晴れの御親閱を終り御召艦列は式場に東面して「足柄」「御召艦」「妙高」「那智」「羽黑」の順で豫定の位置に投錨、陛下には御小憩の後分列諸隊の司令長官以下主なる者を召されて謁を賜ひ、次いで玉座に出御、大演習に關する御訓諭があつて優渥なる勅語を

海軍に　下し給ひ一旦便殿に入御遊ばされたが、御寛ぎの御暇もあらせられず午後零時半御召艦上に飾設された賜饌場に玉歩を運ばせられ居並ぶ海陸の將星、陪觀の文官の奉迎を受けさせられつゝ正面玉座に着かせられ各皇族殿下を始め諸員に陪食仰付られ御銀色喉の外麗しく御午餐を召させられた御召艦上で賜饌の御催しがあると同樣「足柄」「妙高」「赤城」各艦上でも賜饌の宴が開かれ陛下には伏見宮博義王殿下を「足柄」へ、同博義王殿下を「妙高」へ久邇宮朝融王殿下を「赤城」へそれ〴〵御名代として

御差遣　遊ばされた、やがて午後一時五十分賜饌を終り陛下には御座所に入御、御名代の三殿下は御召艦に御歸艦午後二時半御召艦「霧島」は靜かに錨をあげ第卅驅逐隊供奉して横須賀へ向け御出航、この時供奉艦、參列各艦は一齊に皇禮砲を發射、各艦船は汽笛を鳴らして奉送申上げ此處に晴れの特別大演習觀艦式は目出度く終了した

義勇奉公の精神を發揮せよ　濱口首相の謹話

【神戸二十六日發電通】畏くも天皇陛下には去る十八日以來巡洋戰艦霧島に乘御遊ばされ親しく特別大演習を御統監あらせられ其の間時々天候險惡にして風濤激しく艦艇に迫ることもありしに拘らず些かも御厭ひあらせられず終始

龍顏　麗しく晝夜の別なく數日間洋上廣範圍に展開する作戰彌々御統監に渉らせらるゝ事を拜聞するは我等臣民の眞に感激して恐懼措く能はざる次第である、畏くも大演習の終末に少時日を利用せられ江田島海軍兵學校へ臨幸あらせられたが、此の光榮をになへる海軍々人は素より一般國民に於ても大御心の存する處を拜察し必ずや一層奮勵努力以て

益々　義勇奉公の精神を發揮すべきであると信ず、惟ふに平常に在つては艦船の多くは比較的相隔たる各地に配備せられ或は巡航の任務に就くが故に一緒に集合するは容易の事に非ず從つて演習等の場合に際し殆ど全海軍を一ケ所に集めて御親閱あらせらるゝと云ふ事は最も機宜に適せるものにして殊にロンドン條約も愈々效力發生せんとする此の際此の觀艦式を擧げさせられ給ふことは誠に意義深きものと信ず、此の觀艦式の[illegible]

各宮殿下　二艦に御乘艦

【神戸二十六日發電通】大觀艦式陪觀の伏見宮博恭王同妃、同博義王同妃、久邇宮朝融王同妃、賀陽宮恒憲王殿下には二十六日午前八時半神戸稅關第三突堤御着稅關及郵船のランチに御分乘各殿下は御召艦霧島へ、妃殿下方は軍艦加賀に御移乘御陪觀あらせられた

盛儀　に參列の艦艇百六十四隻、空中分列の飛行機七十餘機何れも近世化學の粹を集めたるものと聞く、往年此の地で行はれた觀艦式に參列した部隊と比較して其の進步實に著るしきもの在りと思ふ、之等は一朝有事の際は我が國防の第一線に立つ重責を擔ふもので、常事に於ては平和の保障として國權、國利の擁護に當り又通商貿易、漁業、在外邦人の保護及び海に關する幾多の調査に任じて

我が國民　の發展並に產業の增進に直接間接に貢獻してゐる事は今又贅言を要せず此の盛儀を拜するにつけ吾人國民たるものは海軍を常に有效に維持するの道を講じなければならぬ事を痛感する

注目さるゝ海軍省と大藏省の豫算交涉　補充計畫に强硬な主張を持し政治的解決に移らん

【東京二十六日發電通】谷口軍令部長は補充計畫につき極めて强硬な主張を持し之が主張貫徹の爲め今次大演習を機會に前後二回に亘り聲明を發して帝國海軍國防力の缺陷を週へ或は某々兵力を或程度迄現在より多く有するの必要を宣傳してゐることは海軍部內を擧げて殆ど全く强硬意見の風靡する處となつてゐることを表明するものである、然るに大藏省の一般海軍豫算及び補充計畫に對する査定は此の强硬論を全く無視したもので今や兩豫算は政治的解決に移らんとして居り大演習後二十七日からの海軍、大藏兩省の交涉は頗る注目を惹くに至つた

補充計畫と谷口部長の決意　きのふ霧島の艦上で海軍巨頭の秘密會議

【神戸二十五日發電通】小林海軍次官は二十五日午前八時半來神し堀軍務局長と會見、海軍一般豫算案並に補充計畫に對する大藏省の査定案を報告し之が對策につき協議したが、今回の大藏省査定案はワシントン會議後決定せる國防計畫の圓滑なる運用を妨げるものなるを以て安保海相の政治的解決に俟つ外なしと云ふに意見一致を見たので小林次官は安保海相と會見に先立ち十一時半御召艦霧島に谷口軍令部長、永野次長と會見し更に午後三時御召艦霧島神戸入港と共に陛下の御移乘後安保海相を加へて此處に秋雨深き霧島艦上に於て海軍巨頭秘密會議が開かれた、今回の大演習に依つてロンドン條約の兵力量を以てしては到底國防の安固は期し難し從つて補充計畫を貫徹せんとする谷口部長の決心は容易に動かし難く安保海相との意見一致を見るに至らずして午後七時約四時間に亘る會議を終つた模樣であるが、更に觀艦式後歸京の上海軍、大藏兩省間に折衝が續くるものと見らる

鳥澤生氏赴奉　學良氏に報告

【ハルビン二十五日發電通】露支會議全權莫德惠氏の秘書鳥澤生氏はモスクワより來着張學良氏へ交涉經過報告の爲め二十五日夜十一時發赴奉したが、露支兩國の何れかゞ讓步しない時は局面の打開困難だと

莫全權に對し强硬な訓電　支那主權を侵害する要求には應ぜられぬ

【ハルビン特電廿六日發】露支會議を停頓せしめた哈府協定第四條白露部隊團體の解散と管領職務者の東北四省外追放の件につき支那は履行せずとして既電の如く二十七名と白露團體機關の解散を求めたるに對し、東北政權は鳥澤生氏の經過報告を聽取した左の如き訓電を莫全權に發した「政府は既に之を實行せり支那國籍を有する白露の者には總て支那主權による法律に服從せるを以て今回交涉を[illegible]

に導くが如き要求は避けるべき旨だ」と東北政權はカラハン氏が如何に本件を要求するも支那主權を侵害する不平等的のものであれば實行しない强硬意を有してゐる

對支借欵整理のわが單獨交涉開始　代理公使を通じ圓滿解決する　外務當局では樂觀

【東京特電廿五日發】對支借欵整理に關する各國の債權者會議は支那政府曾ての聲明によれば本年十月一日以前にこれを開催すべき筈であつたがその後內亂勃發のため遷延し目下の形勢では果して何時になつたら開催されるか豫測しがたき狀態で、債權各國は支那政府の

誠意を　疑ひながらも一面事情やむを得ずとして諦めてゐるやうである、されどわが國の場合は他の各國のそれと幾分事情を異にし、支那との關稅條約案が樞府に諮詢された際、政府は對支借欵整理會議開催および釐金稅廢止がその條約承認の附帶條件となつてゐると說明し、以て樞府の可決を希望した關係上、十月一日を過ぎたるに拘らずなほ債權者會議の招集されざるに對し事情止むを得ずとして放任しがたきものがあるソコで外務當局は最近重光駐支代理公使に命じて

わが國　單獨に債權整理の交渉に入らしめ、目下折衝中であると傳へられてゐるが、この交渉に民間債權者代表の參加し居らざるため一部不滿の意を洩らすむきあるに對し、外務當局では民間債權者の意向は既に代理公使に充分通じてあるから必ず圓滿なる解決に到達するであらうと本交涉の前途を樂觀してゐる

各軍整理と黨の淨化が問題　一步を誤れば再び紛糾せん　戰後の北方時局觀測

【天津特電廿五日發】戰後の大問題は軍隊の整理と黨の淨化であるが、鄭州開封一帶に蝟集してゐる中央軍は近く各省に分駐して

共產　黨と土匪の討伐に當る筈であるが黃河北岸に在る反蔣軍の解決後にならう、反蔣軍の解決は張學良氏が擔任し目下政治的解決案に就て閻馮兩氏の代表と協議を重ねてゐる、併し閻馮兩氏は全軍を山西、陝西、甘肅、綏遠に集め之を地盤として將來に備へるこことを定め之等の地盤には東北軍の一兵をも入れずと頑張つてゐるのは石友三軍六萬で石氏は既に衞兵六百を率ゐて奉天に乘込み張學良氏と談判してゐるがその

駐屯　すべき地盤は一問題であらう、軍隊の整理が公平に行はれなかつたならば中央軍內には聯隊の論功行賞に因る不滿爆發し反蔣軍は舊屬部下の擁護を疑む傾向に出るであらう、黨の淨化に就いては南京當局も漸く輿論の黨部に對する不滿を反省し頻りに下級黨部の撤廢を進め旣に軍隊に於ける黨員は一部に二三名とし團、營の下級黨部を

裁撤　更に縣黨部をも撤廢して了つたが斯くて黨部は完全に以て堅めつゝあるも北伐完成までに大功のあつた黨員は黨權を除かれた者が多く之等と下級黨部の結合は反蔣運動よりも更に力強い反政府運動を起すことになるのではないかと見られてゐる要するに南京側の聲明する軍隊の整理と黨の淨化に就て若し一步を誤れば現

政權　の存亡とも見るべき大きな變亂が發生するであらうと傳へられてゐる

ルイズ大統領　退位要求拒絕

【リオデジャネイロ二十五日發電通】ブラジル大統領ルイズ氏は大統領退位の要求を拒絕してゐると

大連印刷業組合の勤續者表彰式　けふ盛大に擧行さる

大連印刷業組合の第六回勤續者表彰式は二十六日午前十時半から常盤町大連語學校講堂に於て擧催された、來賓者は富田民政署庶務課長、尾崎大連署長、長濱市役所社會課長、木村滿鐵總務部次長、恩田市會議長ほか數名、定類山田東亞印刷支店長の開會の辭に次いで太田組合長の式辭あり、それより廿五年、二十年、十五年、十年、五年各勤續者に對しそれ〴〵

證書を　授與したが、宰島民政署長、田中大連市長、仙石滿鐵總裁、恩田市會議長、村井商工會議所會頭、高柳本社長の祝辭に對し二十五年勤續者辻松太郎氏受賞者總代として答辭を述べ閉會した、因に表彰勤續者數は左の通りである
▲二十五年辻松太郎、伊藤平太郎（觀會亭、房照舍（四名）▲二十年野村馬之助、楢崎有（二名）▲十五年渡邊榮一ほか五名▲十年寺井萬之助ほか七十四名▲五年本田常吉ほか百十一名

東北電信統一　管理處を新設

東北交通委員會は東北四省の電話、無線電信を統一するために東北電信管理處を設けて交通委員會の直轄とし從來の東北無線管理局、瀋陽電報、電話、無線各局を始め各地方の電政事務を一箇處に移管することゝなり張學良氏秘書で去月電政管理局長に就任した朱光沐氏が任命された【奉天電話】

四千萬元の獨逸借欵　東北鐵道計畫

東北交通委員會で計畫中の東北鐵道網は大體計畫案成り通遼、馬河間、吉林綏芬間、葫蘆島、車倫間の七大幹線で約四千餘里、總工費九千萬元その內ドイツより四千萬元借入他は東北四省の官商分擔で明春から起工する豫定であると

大飛行場を北陵に建設　鐵道を敷設

東北航空司令部は現在の東塔の飛行場が東西七百メートル南北五百メートルに過ぎず狹隘を感じてゐるので今回新たに北陵に大飛行場を建設することゝなり既に敷地の買收を終り北寧鐵道局の手に依つて皇姑屯より三臺子北方地點までの鐵道敷設に着手してゐる、新飛行場は二千メートル平方で來春早々地均し及び格納庫建築工事に着手する豫定である【奉天電話】

外人視察禁止　葫蘆島の工事

葫蘆島築港事務所では張學良氏ら同工事中は絕對に外人の視察禁止すべしとの命を受けたので外人の視察を嚴重取締つて居ると（營口電話）

藏相、大礒に靜養

【東京二十五日發電通】井上藏相は二十五日午後一時四十分東京發大礒に赴き二泊靜養のうへ二十七日朝歸京する筈である

英國產業視察團上海に到着

【上海二十五日發電通】訪日英國產業視察團アーネスト・トムソン氏以下十三氏は二十五日午後四時ビー・オー汽船マゼソン號で寄港した、明日市中見物の上二十七日午後一時神戸へ直航すると

ブルガリア國王　伊王女と御結婚

【アッシジ（イタリー）二十四日發電通】ブルガリア國王ボリス陛下とイタリー第三王女ジオヴアンナ姬の御結婚式は本日午前十一時歷史を誇るセント・フランシス教會で古式も莊嚴に擧行された、歐洲大戰當時敵味方に分れて戰つた兩國の皇室間に行はれる御緣組は今回が最初である

日曜閑話　經濟生活の過渡　『豐作貧乏』不思議にあらず

天道様は勝手でござる。去年は凶作、今年は豐作。米を喰ふ人間は堪つたものでない。凶作での米騷動なら聽こへるが、豐作貧乏といふのは、おそらく神武天皇以來の出來事であらう。
◇
天保度の飢饉のときは記者の村などでも門閥、富家に押し寄せてポッコシ（打ち毀し）といふ直接行動に出たものなることを父老から聞かされたものである。それでも江戸ッ子は違つたもので、上野の山下に行き倒れがあつたが、喰はずと死んだもあつては名折れであるといふところから、口に楊子をくはへてゐたといふことである。
今どき、將に餓死せんとするものに、楊子をくはへるほどの佇徹味のある奴もあるまいが、とにかく今年期は腹がふくれて困るといふ奇現象。米にうらみが數々ござるといふやうなことにならう。
◇
それといふのも、經濟生活の時代相から考へれば、決して摩訶不思議なものでも何でもない。
わが日本の經濟生活の基調が變遷したのである。封建時代の何萬石、何千石などゝいまだ貨幣經濟時代に入らなかつたが、戊辰の御一新以來、われ〳〵の經濟生活も急速度を以て展開し來つたのである。そして世界經濟の大潮流に乘り出したものである。
自給自足で滿足してゐた經濟生活が、一躍して資本主義の貨幣經濟時代となつたから、どんなに數年前、ロシヤにあつたやうな飢饉なぞのありやうなく、併しプロは所在に横溢し、貧乏は社會世相の常態といふことになつて來た。米ばかりを喰つて居れば腹はふくれるが、今日、われ〳〵の生活要中、米代といふものは、必ずしも主要部分を占めてゐるとはいへぬのであるから、そこに豐作貧乏といふやうな、皮肉なやうでシカも當然の經濟現象を惹起すに至つたものといふべきである。
◇
この春までは、やれ人口問題、食糧問題、やれ代用食の何の彼のと騷がれたが、今度は腹一つぱい米を喰へといふのだ。まづ腳氣にならぬ程度で大に米食せねばならぬが、さりとて經濟生活の基調が急角度で方向轉換をやつたのであるから、糧を貯藏せよ、米を喰へといふだけでは、すくなくとも根本對策は問題とならぬ。瑞穗の國の御繁ではある。すくなくとも日本の農村は、自給自足の封建的な經濟時代から資本主義的な貨幣經濟時代に遷らんとする過渡期にあつたものといはればなるまい。そこに米穀對策の根本問題が横たはつてゐるともいへやう。
◇
上野の山下で楊子をくはへて餓死することはないが、大黑さんのやうに米俵をふまへて、新らしい經濟生活に貧乏せねばならぬ時代に鬮かればならぬことになつたのである（一記者）

天氣豫報

廿七日（北西の風）晴れ

各地の温度

	十一時	昨日最高
大連	一四、三	二、五
旅順	一六、三	二、二
營口	一、三	一九、七
奉天	一、三	一八、八
長春	七、四	一〇、四

滿潮（午前一時十五分　午後一時十五分）

重大性を帶びて來た 所謂間島問題の前途

在留鮮人の保護問題を中心に わが當局頭を惱ます

【東京特電二十六日發】龍井村における支那軍隊の日本巡査射殺事件については先般來岡田總領事より支那側官憲に對し嚴重なる抗議をなすと共にこれが善後措置につき交渉を重ねしめてゐるが、その結果は支那側の無誠意によつて頗る要領を得ない、然し乍ら日本側としては本事件を成るべく局部的地方問題としてその解決を急いでゐるが、一方間島事件の根本原因としては一昨年來間島の支那官憲の在住鮮人壓迫は漸次その度を加へてゐる上に、今春來間島方面の所謂不逞鮮人等は支那側匪賊と氣脈を通ずる傾向を生じ、殊に彼等一味は最近第三インターの指令を受くる中國共產黨滿洲小委員會と連絡していよ〳〵共產主義運動の色彩を帶びて來たので日本としては間島居住の約四十萬の鮮人保護の上より今後頗る重大なる問題たらしめんさしてゐる、しかも支那側のこの不逞鮮人の共產主義運動に對する取締はやゝもすれば支那側の鮮人壓迫と一緒になつて頗る複雜な問題を惹起せる事例に乏しからず、しかしてこれが對策については外務省側の方針と朝鮮總督府側の方針が必ずしも一致せず關係方面に於て相當頭を惱ましてゐるやうである、よつて外務當局は曩にも織田參與官を京城に出張せしめて種々打合せを遂げしめたが問題の前途は在間島鮮人保護問題を中心として頗る重大なる性質を帶びんとしつゝあるもの如くである

三浦亞細亞局第二課長 突如、間島に出張す

日支關係の實情調査と打合せに

【東京特電二十六日發】外務省亞細亞局三浦第二課長は突然約四週間の豫定で間島に出張することゝなり廿五日午後九時四十分東京發列車で出發したが今回三浦課長の間島出張は最近の間島事件其他間島における日支關係の實情調査と共に岡田間島總領事との今後に亘る對支交渉方針について重要打合せを行はんとするものである

登記代書人指定 生活を脅す

市内代書人が善後策協議 近く民政署に陳情か

登記代書は市内代書人が各自取扱つてゐるが中には書式不案内のため書き方が區々で大連民政署法務係でも事務の處理上甚だ困るところから今回登記代書を指定することゝなり、目下市内各代書人から履歷書を集めて銓衡してゐる、しかし一件について五圓もされ、他の代書中で唯一の儲け口である登記代書を僅か五、六人に特定されてしまへば他の六十數人は大打擊を蒙り、また司法代書人の資格をもやかましくいはれてゐる際、當業者にさつては生活を脅かす重大な問題であるさ中には暗中飛躍を試みて指定に與らんさ運動してゐる者もあるが、彼等は目下善後策について協議中で近く民政署に陳情する模樣である

菊花まつさかり　けふ中央公園にて

全滿美術展

長春で開催

冬の訪れの早い北滿の長春に第一回美術展覽會が地方事務所の主催で十一月二、三の兩日滿鐵社員俱樂部樓上で開催される、觀覽は午前九時から午後四時まで、二日は日曜、三日は明治節の佳日、開け行く秋の名殘を飾るに相應しい催しである、出品は自己の創作に限り左記規定で全滿から募り、事務は一切長春地方事務所社會係で扱ふ事になつてゐる▲出品物　洋畫、日本畫、寫眞、彫刻、大さ數量隨意▲出品申込十月三十日限り▲出品物搬入十月三十一日迄俱樂部事務室內▲出品物は出品者に於て表裝額緣等の裝飾設備を爲し出品目錄を添へ命題價格及出品人姓名を明記せる紙片を貼付されたし▲出品物は審査の結果優秀なるものに賞品を呈す▲出品物中非賣品にあらざるものは價格を記載すること▲出品物搬入出は出品人の負擔（沿線よりの出品物の返戾經費は主催者の負擔）▲出品物に對し不可抗力損傷は主催者辨償の責を負はず【長春發】

人選着々すゝむ 新設の刑事課

大連阿片局跡に看板を出すのは 十一月末ごろか

司法警察力充實のため新設の刑事課は目下關東廳警務課で人選その他につき着々さ準備を進めつゝあるが先づ初代刑事課長は既報の如く有田保安課長が兼任することゝなり、鑑識係長には關東廳保安課勤務田口警部が任命される模樣である、なほ現大連署警務主任星警部及び巡查部長二名、巡查三名は廿五日附　刑事課兼務を正式任命された、星警部の兼任は捜査係長に拔擢される前提と見られてゐる、この結果大連署主任級に相當異動ある模樣である、かくして刑事課の人選が終り次第、大連阿片局の跡に刑事課の看板を揭げ事務を開始することになつてゐるが、その時期は十一月末ころとなる筈である、しかして刑事課の新設と同時に現在の大連署を首班とする特別捜査班は廢止され、これに代つて刑事課が特別的犯罪捜査に携はることになる譯で、その活動振りは今から各方面に期待されてゐる

九條武子さんふたり

空の旅で「無憂華」のご挨拶へ來連

東亞キネマが社運を賭して日本映畫界未曾有の大宣傳を行つた九條武子夫人の一代記映畫「無憂華」の主演者として全國より故九條武子夫人の風貌に似た女性を懸賞募集し、これに當選し娘時代の武子夫人に扮した鈴村京子さ夫人時代に扮した三原那智子の兩名は全國各主要都市の映畫「無憂華」封切會に出演挨拶をなし、その容貌風姿が故九條武子夫人に生寫しださいふので人氣を集めてゐるが、大連の「無憂華」封切にも來連が囑されその時期は來月上旬頃と見られてゐた處、突如廿七日福岡發の旅客機にて高村撮影所長、安部九州支店長と共に空から來連し舞臺に立つてファンに挨拶することに決定した（寫眞は三原那智子（上）と鈴村京子）

各若宮さまに 花蔭亭御披露

皇后樣、御十方をお召

【東京二十六日發電通】皇后陛下には御大典記念に全國官吏の獻上した吹上御苑內御休所花蔭亭を未成年皇族殿下に御披露のため秋雨の跡爽かな二十六日午後二時から花蔭亭に澄宮殿下を始め朝香、東久邇、北白川、竹田各宮若宮殿下御十方を召させられた、陛下には照宮樣御同伴にて出御遊ばされ御茶を賜はつて色々と御物語りなど遊ばされ、かくて若宮殿下は秋色の御苑內を御逍遙、聖上陛下の生物學御研究所などを拜觀四時過ぎ御還出遊ばされた

拜觀者百萬人

【神戸二十六日發電通】光榮と歡喜の夜は明けた、氣遣はれた夜來の秋雨はからりと晴れて今日は絕好の天皇日和。淨雨に淸められた神戸の町は徹宵喜びにざはめき神戸裏山から山といふ山、丘といふ丘には今日の盛觀を拜せんとする人々が徹宵押掛け今朝未明既に諏訪、六甲を始め人を以て埋められた、各郊外電車は昨夜來全能力を擧げ盡したがそれでも運び切れずゐる等は喜觀である、この朝阪急阪神、宇治電等各電車の輸送客は午前九時五十萬を越ゆる盛況である

廿五日切符賣止めと云ふ大混雜、此の日京都大阪より押寄せた拜觀者を合すれば百萬人に達したさいはれ阪神沿線の海岸も文字通りの人の山を築いた、午前八時劉喨たるラッパの音がほがらかに海岸に響くさ砂濱に跪座した奉拜者中には遙かに海上を伏拜む老人さへ見られたこの日大阪から神戸に向つた拜觀船四百隻、神戸附近の拜觀船を合して二十萬人と數へられた、茅渟を壓する百六十四の艨艟、七十餘機の爆音は六甲の山にこだまして空前の盛儀は終へられたが今夜は又各艦のサーチライト、イルミネーションが神戸沖を光の海と空に化する

觀艦式拜觀者で 湧き返る神戸市

ゆふべの雨に用意の雨具 スッカリ持てあましの喜劇

【神戸二十六日發電通】晴れの觀艦式拜觀のため神戸驛は二十五日夕刻から地方人殺到し鐵道側は列車を增發したが、なほ不足を告げる始末で神戸驛始まつて以來の大混雜である、昨夜から今朝までの旅客を調べて見ると神戸一萬一千、三宮三千八百、須磨六千八百、兵庫一萬、住吉三千、蘆屋二千、灘二千、三田四千と驚異的數字を示し中には一列車借切りでやつて來る者もある、殊に昨夜の雨に用意した雨具が今朝は思ひがけぬ觀艦式日和にすつかりもてあまされて

洗面器を鳴して 誘出し滅多斬り

痴情の果ての兇行か ゆふべ旅順管內の殺人事件

廿五日午後十一時三十分ころ旅順管內方家屯會安嶺屯十七番地侯德升方の門口で鍼力製の洗面器を打ち鳴らすものがあるので主人德升（四九）は何事ならんと表へ出て見ると、洗面器を捨て矢庭に鑿をもつて候德升の臍腹を突き刺し、更に頭を滅多斬りして卽死せしめ、逃走した殺人事件があつた、ほど經て家人が發見旅順署に急報犯人嚴探中である、何者の仕業とも判明しないが痴情關係の兇行と見られ洗面器を打ち鳴らしたのは被害者を誘ひ出す手段であつたらしい

日曜でお賑ひ

兒童愛護デー（第三日）

兒童愛護デーの三日目二十六日は午前九時半から滿鐵協和會館で大正小學校訓導丸山良一氏の童話があつたが日曜日とて入場者多く賑ふ賑はひ午後一時からは大正小學校講堂で本社青山記者の童話並に銀鈴少女會の童謠舞踊があつて盛況を呈した

二百餘圓入りの 財布を掏らる

浪速町で夜店素見中 スリが横行ご用心

大連信濃町百廿五番地楠田鶯之助は廿五日午後七時ごろ浪速町夜店を見物中、現金二百二十三圓入りの赤革の財布を掏られ害くなつて大連署に訴へ出た、最近盛り場へスリの一味が入り込んで盛んに荒し廻つてゐるので刑事連が眼を光らせてゐる

早大騷動遂に 學校改革運動化

反田中理事熱漸く昂る

【東京廿六日發電通】紛爭勃發以來十日正式に臨休を開始して三日の早大ストライキは商業部、政經學部理工學部學生五十餘名を除き殆くまで學校當局に對峙してゐるが、二十五日理工學部建築科一、二、三年生も全建築科の名において聯合委員會の統制に服しストライキに入り、早大はかくて學げてゼネストに入つた、聯合委員會は二十六日日曜を慰安デーとして各クラスを單位にピクニック、スポーツ、娛樂等を行ひ結束を固め持久戰準備を固めてゐる、一方學校當局は極力切崩しを行つてゐるが教授會の一部には反田中理事熱昂まり校友またこの潮流に合するもの多く學校改革運動となりつゝある

軍縮記念放送の 自信をつけた

昨夜JOAKのテスト

【東京二十六日發電通】二十七日の記念すべき軍縮放送を前に愛宕山放送局は二十五日夜最後のテストを行つた、十時半頃から早くも米國アール・シー・エー會社のボリナス送信局から若機を經てジャズが聞え始め、十一時になると札幌から「ハリウッドからの放送を中繼します」と呼び出し佐藤ロスアンゼルス領事から懷しの日本語で呼びかけがある、放送局內はこの前よりすつと良成績だと大喜びである、かくて深更一時まで續いたがこれで晴の本放送もいよ〳〵折紙がついた譯だ

女子籠球大會

大連YMCA主催、女子バスケットボール大會は廿六日午前十時から市內敷島町同會館で擧行されたが神明、彌生兩高女の年級別の聯合ひとなり、三四年の兩組は共に接戰を演じ結局神明二勝一敗の好成績にて正午すぎ閉會した、成績左の如し

神明二年	22	12—2 10—2	4	彌生二年
彌生三年	18	8—13 10—4	17	神明三年
神明四年	17	11—5 6—10	15	彌生四年

神明　F 松塚 紅大　C 高崎　G 岩井 今西
彌生　F 內川 木佐　C 有馬　G 村藤 野森 立川
神明　F 屋藤 土齋　C 金子　G 上井 井金
彌生　F 渡邊 秋山　C 伊勢　G 成大 神阪
神明　F 田江 下大宮　C 岩井　G 山井 杉古 高田
彌生　F 松田 植林 佐　C 三吉　G 渡邊 神崎

高田政代孃 優勝す

砲丸投げに

【大阪特電廿五日發】廿五日大阪市立運動場で擧行された全日本陸上競技選手權大會は折柄の大雨のため記錄は總體に惡かつたが滿洲を代表して參加の女子砲丸選手大連彌生高女の高田政代孃は八米九七の記錄にて見事優勝した

ボーイ風の 剩錢詐欺

雜貨商が一杯

二十五日午後六時四十分ごろ大連信濃町九三番地雜貨商萬和東方へ二十歲位のボーイ風の支那人が訪れ木炭一俵（八十錢）を注文し十圓紙幣で渡すからと剩錢を用意させて岩代町寶湯表まで店員に持參させ、そこで木炭と剩錢九圓二十錢を受取り「一寸待つて居れ」と湯屋に入つたまゝ出て來ぬので初めて詐欺に掛つたと知り大連署に屆出た

俠艷一代男 (98)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

狐か狸か(八)

「御用人樣でござりまするか?」と、つかつかとその前へ出た目明き按摩の道玄が、腰を低く「加州さまの御濱人依田八左衛門さまのお嬢さま、お千賀さまでございます。御覧の通りまだ甦つて世間馴れない方で、唯今もその、御門前まで參りまして、あれ、あのやうに羞しがつて這入らうとなさらないのでございます、えへへへへ」

「本當に年ばかり行きましても、からきし小娘でございますよ。ホッホ……」と、老婆も負けずに賓物に花を添へた。

「左樣か?いやはや他愛の無いこと!しかしその羞かしがる所がまた得も云はれぬよい所でござらうよ。はーい、殿さまもなかなかお眼が高い。さうぢや、門前でいつ迄も愚図ついては居られぬ。お前さまが羞かしがるには、時がまだ早ふござる」

「ホッホ……」と、老婆が梟の鳴くやうな笑ひ聲で「御用人さまもなかなか隅に置けぬことを仰しやりますれ」

「はーい、その通りでござる」

蛙の面に水と云ふ諺通りに、老婆が輕い冗談など、用人鷲尾左内には感ぜぬらしい。

「ではお千賀さま、御案内致しましやうぞ」と、先に立つた。

「乳母やも、小父さまも一緒に……!」と、お乘がいかにも内氣らしい樣子で、偽の道玄と老婆とを振返つた。

「へえ、お伴を申し上げますよ」

みながぞろぞろと門前から玄關式臺の方へ歩いて行つた時、十六日の月が築地を越した屋根瓦の上にまん圓く上つて、そこら一面を蒼白く照してゐた。

「道玄!」

「げえッ!」と、突如に呼ばれた目明き按摩の道玄、ギクリと胸をつかれた思ひで、聲した植込みの方を佇んだまゝ見つめると、姿を隠すため、屈んでゐたと見える、入墨組か組の鳶採藤吉が立上りざま、つかつかと歩み寄つてくる。その後からは龍吐水持の金次。

「うまく化け込んで來やアがつたな!」

一時はハツとしたが、さすがに膽の据わつた悪黨だけ、かうなると太々しく

「俺はそんな者ぢやねえ」と、顔を横に外せると憎々しい態で空嘯いた。

「ふむ!そんな者ぢやねえ?さうか?金次!お前は此奴の面をよく見知つてゐるさうだから、改めてみてくれッ!」

「あいよ」と、待つてましたと許り、金次がのこのこと前へ出ると

「やいやいッ!目明き按摩の道玄!うぬはか組の金次のこの顔を見忘れたか?そつちぢや覺えがねえと吐すか知られえが、盲目長屋にゐたお尋ね者の道玄、うぬの面を忘れるものか?淺草田町の八軒長屋で、一軒置いた隣り合せ、朝晩に顔を見合してゐたか組の金次だ。まさかかうなつてまで、手前はしらを切つて知られえとは吐すめえな?」と、詰め寄つた。

「か組かへ組か?俺はお前のやうな町火消の三下野郎、濡没な風體に懇意はねえ」

「何ッ?ぢやア手前は飽くまで知られえと突ッ張るんだな?」

「知れたことだ。どこの何奴から纏まれたか知られえが、知らぬ事は知られえと云ふ迄よ」

「よしッ!さうか?外の奴等に用はねえ。手前だけしよッぴいて行くから覺悟をしろ」と、金次が道玄の前へ廻ると、突如に胸倉を攫まへた。

「な、何をするんだ?洒落た眞似をしやアがると、承知しれえぞ」

金次の手を矢庭に攫ひのけざまキッとなつて、立ち直つた。

「哥貫!面倒だッ!やッちまふぜ」

腰にさした鳶口、振廻ろさ、氣早の金次は「道玄!覺悟をしろ!」と、打つて懸つた。

體を捻つて、空を打たせ、濡れる手首をぐつさ擱んで、睨み廻しながら

「手前たちは何が遺恨か知られえが、俺たちの仕事の邪魔をしやアがるんだな」

キネマと演藝

映畫『無憂華』 二館同時に一齊封切

東亞キネマ作品九條武子夫人「無憂華」は愈々廿七日より大連にて封切されることになつたが、演藝館にては豫定の前賣券を發行し盡したので一館のみにては收容し切れぬため豫想されてゐた如く濱速館同時に封切をなし大連映畫興行界に新記録をつくることになつた尚入場料は階上一圓廿錢、階下一圓で前賣券は八十錢に割引してゐる

大連 JQAK

十月廿七日午後七時

▲ラヂオ體操

以下歌舞伎座千島會一座連絡放送

▲舞踊　千島家娘子軍

▲萬歳　鶴賀精子、花の家福丸

▲萬歳　千島家さんぽ、同力丸

▲舞踊　千島家娘子軍

▲女道樂　竹の家小蝶

以下大連放送局より

▲職業紹介事項

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京 JOAK

十月二十七日午後七時

▲漫談「調子の狂つた演説」大辻司郎(伴奏指揮)ガンジン

▲琵琶(薩摩)大照秀子

▲新日本音樂(一)歌謡曲「山椒太夫物語」久本玄智外五名(獨唱)吉田富喜子(二)尺八二重奏「靈慕流し」野村景久、下川鴻久、(箏)平井佐知子 (三)管絃合奏(鳩一跡)田邊尚雄作(指揮)田邊尚雄

小太夫の中山七里 長谷川伸の原作「中山七里」を既に菊五郎によつて昨春新橋演舞場に上演され當り狂言と言はれた作であるが、これを歌舞伎界の新人市川小太夫が主演してミナトーキー第一回時代劇發聲映畫として製作中で月末完成し十一月封切の豫定である【寫眞は小太夫の政吉と春野歌子のおさん】

文藝

滿洲の生育せる詩人と其の詩書

城小碓

私は滿洲詩壇なるものが何時頃から發生したものかは知らない、私が滿洲の詩壇なるものを知つたのは「亞」の廢刊記念會からだ、其れは昭和二年の二月だと思つてゐる、其れ迄に滿洲の詩人から六冊の詩集が出てゐる。北川冬彦氏の「三半機關の喪失」「檢溫機と花」城沼氏の「古き旅行地圖」富田充氏の「春廟」加藤郁哉氏の「杏」野村吉哉氏の「三角形の太陽」である。其の內三半機關の喪失、古き旅行地圖、春廟の三册はパンフレツト風の二三十頁の小冊子である。昭和四年になり東京の厚生閣から「現代の藝術と批評叢書」の第二編として安西冬衞氏の詩集「軍艦茉莉」が出た、此の詩集により氏は一躍、中央詩壇に新詩人として認められた。

同年、東京の素人社から加藤郁哉氏が第二詩集「逃水」を發行し川崎の詩の家から、古川賢一郎氏が詩集「老子降誕」を出した、其の頃東京に在住せる北川冬彦氏のマツク・ジヤコブの譯詩集「骰子筒」が出版されそして五年に至りて同じく東京の厚生閣より詩集「戰爭」が出てゐる、尙、營口に在留する青木出郎氏が東京の獅子發行所より詩集「車」を出した（註靑木氏は現在は東京に居る）其の外、安東から誰かが詩集を出したとある雜誌で見た、大連に於ては戎克同人より詩集「戎克」を出してゐた、此れは詩誌戎克から採錄したもので出版部數、僅か六册である。

六月に至り私の編纂、稻葉亨二氏の裝幀になる滿洲最初の詞華集として「塞外詩集」が出版された、尙最近島崎恭爾氏の第一詩集「國際都市」が出版されんとしてゐる以上は詩書にして詩人としては北川冬彦氏全日本詩人の花形として中央に活躍し、野村氏影を見せず往年の滿洲詩壇に功績ある北岡實は今は福岡に寂しく記錄してゐる

尙滿洲に在住せる詩人としては「あゆみ」「滿洲詩人」時代の人々で現在尙詩作をつゞけてゐる詩人として安西、瀧口、加藤氏あり、志村、橋澤、城所、富田、諸谷等の諸氏は短歌、其の他に轉換してゐる。

秋の太子河（四）

淺枝次朗

砂崗子の山峽

鐵家堡子の合流點で渡船を渡ると砂崗子と云ふ村がある。河は山峽を急カーブして流れ、この附近は丁度本溪湖と遼陽との中間に當り、太子河中最も景色が變化に富んでゐる。

村を端づれて下ると道は恐ろしく高い絕壁の上へ登つて行く。車や馬は勿論人が辛うじて通れる程の小徑である。上から見下ろすと、白い砂や礫の河床を藍色の太子河がぬらくと曲線を描き對岸には長城を想はせる奇岩を背負つた山が伏してゐていゝ氣持になる。

中國文壇の近狀（二）

大內隆雄

輝く創造の時代

のあさを受けて、新らしい裝ひのもとの「創造季刊」「創造週報」「創造月刊」の第一號は一九二六年の三月に出てゐる。それには成仿吾の「文藝批評雜論」郭沫若の「藝術論」それに張資平の「キユラソー」同じく「密約」等が出てゐて、郁達夫の書いた卷頭語を見ても、單に純眞な文藝運動として出發したものであることがうなづかれる、その「創造月刊」が新しい轉回を示したのは、翌一九二七年の第七號からであると言へやうすなはち同誌において郭沫若は麥克昂の名のもとに「英雄樹」といふエツセイを發表して居り、又同じ號に鄭伯奇の戲曲「抗爭」（これの日本譯は筆者によつて、嘗つて雜誌「滿蒙」で紹介された）が載つて居り、段可情や、王獨淸の作品も載つてゐる。

「英雄樹」の中では斯う說かれた「文藝は時代を率ゐて進むべきものである、だが中國の文藝は時代の遙か彼方に遲れてゐる。

個人主義の文藝は老込んでしまつてゐる、だがこの醜惡な個人主義者、醜惡な個人主義者の呻吟が依然として文藝市場を跋扈してゐる。

——靄を……悲哀……女だ……イムポテンツの頹廢派の醜さよ

大地の最も深い處に猛烈を極むる雷鳴がする。

諸君はそれを聞いたか！

諸君の王宮、諸君の象牙の塔はひつくりかへされるのだ。

諸君に代つて新しく起つ文藝の戰士は今まさに出現しやうとしてゐるのだ。

諸君のポロラツパなでたらめに吹く要はない、暫く蓄音機になつた積りでゐ給へ！

◇

階級文藝は途中の文藝である。それは一つの橋だ——別に美麗な橋ではない——それが彼岸へさし掛けられてゐるのだ。

◇

これ等の言葉から、彼らの目指した行方は大よそ窺はれるであらう。そしてその主張の具體化されたものとして、前記の「抗爭」を擧げることが出來る。

この一幕物の戲曲は、その內容に於て題材に於て、まさにその時代の所產に適合したものであつた上海のカフエに働く若い女性、客數人、外國兵を登場人物として、其處に巧に、中國の民衆の抗爭の相手を明示し、それに關する理解を容易ならしめ、萬人の胸に理性さに訴へてゐる。——これが一九二七年初頭の作品であつた。

斯くして、中國文學は、輝く新らしい創造の段階に這入つたのであつた。

次の號を見ると、成仿吾の「文學革命から革命文學へ」と題する論文が出てゐる。これこそ、中國プロレタリア文學出發の、理論的起點となつたものであつて、實にこの、文學革命から革命文學へといふ叫びが爾後の運動の合言葉となつたのであつた。次項にその大要を紹介しやうと思ふ。

飛行士（八）

ヴ・イテイン作　浦路觀譯

チヤンツエフは顏を仰向けにして前の山から湧き出して來た雲を見つめ乍ら飛行場を歩き廻つてゐた、山はそれらの雲と眠つて飽くまで雲に負けまいとしてゐるやうな風である、彼の瞳の中はトギレくの夢がまだ充分醒めない濕氣したやうな空つぽになつたやうな又崩れさうな氣もした、雲が段々濃くなつて來て上に上にと重なつた彼は空氣を嗅いだ、それは吹いて來る風の水蒸氣の多さを嗅ぎ別けるのに慣れてゐたからであるK四號から意外にもエツツが出て來た

——お早うと彼はどなつた、チヤンツエフは急に立ち止まつた、彼にはエツツのこの大聲の挨拶が何となく不自然らしく思はれた、然し彼はそんな感じを壓さへてしまつてそれが實に豫期しなかつたことが嬉しいとか獨言のやうに云ひながら走つて行つて挨拶した

——役目です、私の役目です、よしとエツツは言譯らしく云つた丁度その時エルテイシエフが來たので話の調子が變つた

——吾々の計畫はこれから眞直に飛ぶことになつてゐます——とチヤンツエフが言つた、飛行計畫は飛行が終るまで口外してはならぬことになつてゐたのであるが彼は不用意に言つてしまひ、——それ丈けなのです、あちらから私が電報を打ちます——エツツは向きを變へて空をながめた

——貴方にはモン、ローザの近くを飛ぶことになりますれ、貴方々の機械は外國の優秀な飛行會社の機械に比べて競爭し得ますかネ、天候の回復を待つた方がよくはありませんか、萬一雲の中を飛行中着陸せねばならぬやうなことになつたらどうなさる？——いや、モーターは大丈夫ですとチヤンツエフが面倒臭さうにいつた、彼は自分の飛行機が優秀だと思つてゐるから外部の者がそんな餘計な注意をするのを不愉快に思つてゐた彼は飛行機の方に近よつて行つた

——よしツ——とエルテイシエフが叫んだ、チヤンツエフは調子のよい輕い廻轉に微笑んだ、彼は全力を出してすぐ上昇をさせた、離陸した時彼は下にゐるエツツに最後の一瞥を投げた、そのドイツ人は前と同じやうに顏を仰向けにして立つてゐた、彼の唇は何故か開けたまゝでそして何か言ひ殘したことでもあるやうに兩手を上に擧げてゐた、チヤンツエフはそれから方向を轉じてからモーターに耳を傾けて見たがすぐ安心した彼はゆつくりと椅子の背によりかゝつた生溫かい風が顏にかゝる、風は何となく重くて電光のやうな光がキラくしてゐた

チヤンツエフは空中を飛んだ時間を數へれば何千時間であるかその度每に飛行家の最後を恐れた、彼の空中生活も今ではハクが附いた、彼は確に地球から月までの距離以上のレコードを持つてゐる、然し常に彼を脅かしてゐるものは大地だつた、空中の生活は寒いとか恐ろしいとか云へばよいものではないが、唯技で彼を喜ばして呉れるのは舵を握つてゐる間は彼は最も自由な人間であることであつた、彼は前方を見た、山の上に雲が折重なつてゐた、しかし何れにしてもその上に出てしまへば同じことだと思つた、そしてそれが充分自信があつた。

彼の後ではエルテイシエフ君が目を見はつたまゝ居睡りをしてゐた、彼は昨夜愉快な一夜を明かした、そして今はチヤンツエフと同じやうな自由な氣分に浸つて微笑んでゐた、それは丁度一九一七年に彼が牢を出た時のやうな氣分だつた、彼はその當時のことを思ひ出したりそれから現在まで共產黨入黨、仕事、妻……などと一日牢獄からは出たが又逃れることの出來ない宿命に引づられて變遷して來たことを思ふと恐ろしいやうな氣がした。

前方の山が水色に變つて來た。

五作家の横顔

大庭武年

「忙がしい」と言ふことは、事實それ程でなくとも、よく口實にだけは使はれるものである。私はその手で約束を二度迄怠けた然し今度は三度目だ。兎に角、既載二篇の後を享ける「菊池氏一行」に就ての記事を完結さすだけはさせて置かねばなるまい——假令それが既にニユース・ヴアリユを失つて了つたものであるにしても。だが甚だ私の憂鬱とする所は、どうも私のペンが私の思ふ通りに動いてくれない事である。私は最初上中下の最後の一篇を「秋を行く」として、私が一行と共に途中迄汽車で奧に向つた時の事を書いて、全篇をまとめやうと考へてゐたのである。然しそれが思ふやうに書けないのである。私は今度筆をとるに際して斷然標題を上記の如く改めた。これで約が果せれば幸甚である

池ノ谷新三郞氏

氏は育ちのいゝ坊ちやんであるひねくれた所の些ともない明るい拘泥＝のない靑年である。講演なぞつてスツポかす所なぞは「處女的」風貌がある。氏は講演の日社員俱樂部二階で色々と、氏の主宰する「蝙蝠座」に就ての打開話を私にしてくれた。一ケ月の練習期間中は俳優に芋を喰はせて置くと言ふ內幕迄も。私は此の「望鄕」の作者に少しの外國かぶれも發見する事が出來なかつた。私には氏の衒氣のない性質がたいへん好ましく思はれた。

横光利一氏

純藝術家的風貌である。その俊英さうな眉目、氣むづかしさうな引緊つた唇、能力消費者らしい瘦せた顏容、そしてポツリポツリと聲に力を入れて吐き出す話振り。皆その作品から受ける感じとそぐはないものはない。我が日本文壇が持つ第一級の藝術家としてその貫祿も十分にある。私は展望車の廣い窓から秋の曠野を氏と打眺め乍ら、滿洲を題材とした小說が書か[illegible]生れ出なければならぬ事を語り合つた。私は山東から來る「戰艦客」を題材とした小說を書かうと思つてゐる事を話すと、氏は自分も「上海」物の續きを「滿洲」に持つて來て書く心算だと話した氏の勉强振は汽車中でも頻りにメモをとり出して印紙を書きとめてゐるのでも想像された。氏の藝術が決して氏の聰明ばかりで磨かれたものではないやうに思はれた。

佐々木茂索氏

フランス流の紳士。氣輕で、えらさう振らないで、さうかと言つて輕はづみな所は些ともない。私は氏からは、藝術家と言ふよりは溫好な若紳士の感じを受けたのだつた。

直木三十五氏

私は氏を初めひどく無愛想な人だと思つた。然し顏を度重ねて合はせると、私の印象は全く間違つてゐた事を發見しなければならなかつた。氏は本當に人なつツこい人であつた。氏は寡默のやうであつて、話が好きであるらしかつた。それに又文壇の橫紙破りと稱せられてゐながら「近頃やつと講演の前になつてもドキドキしなくなりましたよ」と私に講演後述懷する程、氣難ないゝ人であつた。氏は汽車中で私の探偵小說を讀んでくれ、そして私が列車から降りる際迄（展望デツキに横光氏と共に出てきてくれて）創作に就いての注意を與へてくれた。私は將來氏に師事してもいゝ位に思つてゐる。

菊池寬氏

名聲を鼻にかけたり、眼下の者を鼻の先であしらつたりするには餘りに氏の教養が、そして常識が高すぎる。氏は着連後R旅館で寬いでゐる時、某紙の記者が名刺を通して訪れて來たか、氏は崩して居た足を坐りなほしてキチンと居ずまひを直された。一事が萬事氏は總て氣さくに心やすく振舞ひ、決して高くとまつた所などはない甚だ感心させられた事である。然し氏の顏を見てゐると非常に剛氣な所がある事に氣づく。氏が兎に角今日迄自己の地位を押し進めて來たのも、又は何とかかんとか惡く評を受けたのも、その剛氣がさせたものであらう。だが私の好きなのは氏が人情味に溢れてゐる點だ氏の講演を聞いて心を打たれなかつた人があつたゞらうか。なほ氏が人一倍努力家である事は、日常どんなに前夜の就眠が遲くともキチンと七時には起きて、そして午前中は仕事に熱中すると言ふ事を聞いてもわかつた。人なみならば誰れにでも出來る。人なみ以上に努力すればこそ嶄然として水平線上に頭角をぬきんでる事が出來るのであらう。—完—

老虎灘に立つた友情碑

嘗て大連に在住した歌人白水吉次郞氏の物故を悼み友人池內赤太郞、武田寧市郞氏が協力して建てた歌碑である、高さ地面より七尺、碑面には

このくにの春のをはりと思へども日かげれば寒し鐵山小道

の一首が刻されて居る。赤太郞書寧市刻である。近く除幕式を擧行することになつてゐる。

滿洲野

田頭猛

何處に日の出か、ヨ
チヨイト、日の入りか
廣い滿洲野は、ナ
たゞ遙々と
遙々さ、ヨ。

何處で祭か、ヨ
チヨイト、出て見たが
高粱畑に、ナ
たゞ風ばかり
風ばかり、ヨ。」

秋の滿洲野は、ヨ
チヨイト、この風に
高粱畑に、ナ
ただ陽が赤い
陽が赤い、ヨ。」

明日も日和か、ヨ
チヨイト、茜雲
遠い部落にや、ナ
ただ驢馬の聲
驢馬の聲、ヨ。

滿洲日報

趣味の殿堂・常識の寶庫・至廉の極致
誠文堂
十錢文庫
凡ゆる犧牲と困難を排して敢然刊行したる「十錢文庫」は出版界の新しき行路を開いた。而してパンや味噌と同じやうに吾々の生活必需品中に喰ひ入つた。何より此の賣行きが立證する。
本文庫第二期刊行に際して　誠文堂 小川菊松
「十錢文庫」の發表は、果然昭和出版界の彗星的出現として、萬人を瞠目せしめた。發行者として、私はいま會心の笑みを洩らさざるを得ない。反動論を粉碎し、是非論を超越する嵐の如き讃評！私は耳を聾せんばかりのこの時勢の聲に醉つてゐる。出版業を致して十八年始めて到達した男兒の本懷である。至上の愉快事である。犧牲も、奉仕も、この計劃の前には喋々を要しない。讀者は全部識つてゐる。私はたゞ、第一次第二次と提げて立つた是等幾多の名著が、十錢といふ不當價に依つて、見事立派に世間へ贈る事が出來た悅びを滿喫すればよい。諸彥、不易の支持を賜へ！
出版の合理化
果然！出版界の大問題
廉價本の流行は世界の大勢であるにも拘はらず誠文堂十錢文庫はあまりに安きに失し、他の不廉本の賣行を阻むと言ふ理由で、全國各地の書籍商有志は過般來猛烈なる十錢文庫反對運動を起しつゝあり。されど、奔流の如き我が十錢文庫の熱讃の前に是等時代に逆行する愚論が果して行はれ得べきや！今茲に何をか曰はん、我等はたゞ「良書を廉價に」をモットーとして大衆と共に往かんのみ……
旭日昇天の賣行・よりどり十錢
第一期既刊書目　各冊百頁以上 八ポ新活字組 瀟洒たる美本
野球入門　三宅大輔著
野球の見方　松內則三著
最新撞球術　新田恭一著
ラグビーの見方　宇野庄治著
社交ダンスの手引　玉置眞吉著
產兒調節と避妊　馬島僩著
ユーモア性典　菱刈實雄著
血壓と動脈硬化
家庭飲料水の作り方
百貨店百景　倉本長治著
將棋初段になるまで　七段金子金五郎著
麻雀入門　廣津和郎著
競馬必勝法
犬の飼ひ方　中根榮著
俳句入門　高濱虛子著
川柳手習　岸本水府著
建築樣式の話　岸田日出刀著
新聞の話
經濟記事の見方　長谷川光太郎著
株式會社の知識　山口丈雄著
豫算の話　中津海知方著
議會政治と政黨　山浦貫一著
レヴューの話　川口松太郎著
映畫のABC　古川綠波著
菊の栽培法　石井勇義著
宴會・作法・禮裝　ハリー・ウシヤマ著
洋畫の描き方　東郷青兒著
西洋笑話　鵜沼直著
世界一物語
樂譜の見方　小松耕輔著
十錢文庫第二期刊行書豫告
新文藝字典　菊池寛著
文章の作り方　菊池寛著
短歌入門　吉井勇著
レコード名曲解說　山田耕作著
西洋音樂入門　堀內敬三著
聯珠初段になるまで　高木楽山著
●圍碁初段になるまで　久保松勝喜代著
陸軍の話　櫻井忠溫著
海軍の話
●寫眞術入門　竹山茂雄著
●小型映畫の撮影と映寫　歸山教正著
探偵科學の話　高田義一郎著
ストライキ戰術の話　加藤勘十著
社會主義の話　麻生久著
●共產主義の話　室伏高信著
●無政府主義の話　同著
社會科學の話　木村毅著
モダン語辭典　鵜沼直著
●モダン隱語辭典　宮本光玄著
●テーブルスピーチ
百人一首早取法と新譯
民謠小唄新曲集
日本畫の描き方　小室翠雲著
漫畫と漫文　岡本一平著
●銃獵の秘訣　正親町季董著
●釣魚の秘訣　橋爪光雄著
●株式期米相場の話
●比較研究五大強健術　西川勉著
●女ばかりの衞生　菱刈實雄著
●趣味の生體科學　竹村文祥著
●エロエロ東京娘百景
●東京盛り場風景　酒井眞人著
●上海ごん底讀本
東京名物食べある記　松崎天民著
關西名物食べある記　松崎天民著
●全國名物食べある記　松川二郎著
●合法的電車汽車安乘法　同著
友愛結婚物語　原田實著
素人手品一百種　松旭齋天勝著
麻雀必勝法　廣津和郎著
麻雀高等新戰術　川崎備寛著
●麻雀超スピード上達法
●圖解柔道入門
●圖解劍道入門
●早慶野球年史
●六大學リーグ戰史
●スキー入門
スケート入門
陸上競技入門
右書目中●印は近日發賣す
御注文について
□本文庫は三五版各冊百頁以上八ポイント新活字組瀟洒たる美本各冊讀切
□本文庫は全國の書店で販賣してますから成べく最寄の書店から御買ひ下さい
□本社直接の御注文は必ず五冊以上の事五冊以下の御注文は謝絕致します
□御注文は總て前金に願ひます。代金引換は謝絕。尙御拂込の場合は五冊六錢（以後の分は一冊一錢）
□送金は振替に限る。爲替又は切手は書留の事、切手代用は一割増に願ひます
□御注文は成るべく團體的に御注文下さい。送料が安くなり非常にお得です
東京・神田・錦町一丁目
誠文堂

社說

間島事件の眞相を解剖せよ

隣接親善の癌

間島方面の共產黨匪事件、頻々として勃發し、停止するところを知らぬ有樣なるは日支の國交上すこぶる遺憾である。尤も、共產黨匪事件なるものが果して眞の共匪なるや否や、換言すれば、わが在住朝鮮人を壓迫する手段口實として支那側が一種の苦肉作用からの事件ではあるまいか、とにかく、善良なる在留朝鮮人が共產黨匪の名の下に、または眞實の共產黨匪のために、壓迫せられ、危害を加へらるゝといふことは、隣接國際關係の重大案件であらねばならぬ。ここにおいて、わが外務當局も、三浦課長を特派し、本腰になつて事件の解決に努力せんとしつゝあるが如きは、大に多とせねばならぬところである。

◇

元來、間島地方は豆滿江といふ江水を以て自然的國境をなしてゐるもの、これを文化的、民族的に考察するならば、その國境なるものは甚だしく妥當を缺くものといはねばならぬのである。すなはち支那の領土內に多數の朝鮮人が在住するといふの結果、常に問題を惹起しつゝあるのである。民族自決の原則を以てすれば、すくなくとも間島は朝鮮人のものであらねばならぬのであつた。滿洲は朝鮮人の故土であつたゞけに、殊に吉林省の如きは鷄林の轉訛せるものであり、鷄林の主人公たる朝鮮人は鷄林半島の一局部に逐放せられ、つひに鷄林は吉林と改められたるに徵するも明瞭なる如く、文化的、民族的の考慮を以てせば、間島地方の如く現に朝鮮人の居住の多數なる地方に問題の頻發するは蓋し已むを得ぬところとせねばならぬ。併しながら、事實かくの如しとするも日支間に事件の頻發するは決して慶賀すべきことでなく、相互に事實に立脚し誠意を披瀝して、その解決を遂げねばならぬ筈である。

◇

然るに支那側にありては、時に或は朝鮮人を排斥し、壓迫するがための口實手段として共產黨匪事件を云々するのではあるまいかとの疑惑を濃厚にせざるを得ぬを遺憾とするものである。極言すれば在住朝鮮人を抑壓排斥せんがために敢て共產黨匪と云々するにあらずやとの事實さへ看取されるのである。共產黨匪の取締りを名として朝鮮人を排斥せんとするが如きものあらば最も遺憾とせねばならぬところである。若し眞に共產黨化した不逞朝鮮人の跳梁するが如きものならば、須らく日支兩國は共同の敵として協戮一致、その一掃に努力すべきではあるまいか。然るに支那官憲が、日本官憲の活動せんとするに對しては事毎に、何ら手を觸れしめんとする態度あるは、吾人の支那のために最も遺憾とせねばならぬところである。

◇

ここにおいて吾人は思ふ。間島地方は勿論、支那の領土であるが、文化的、民族的の關係を今日、云々し云々するものではないが、併しながら、わが日本臣民として條約上、朝鮮人が享有すべき權益は立派に、これを享有すべく主張せねばならぬことである。すなはち支那の主權は徹底的に尊重せねばならぬが、されば又て國際條約上の權益は相手國をして充分に尊重して貰はねばならぬのである。而して吾人は、間島地方に頻發する共產黨匪事件において、眞に不逞朝鮮人による共產黨事件なりや、または支那官憲のデッチ上げによる、いはゆる共產黨匪事件なるものなりやを明確にし、共同の敵は共同の敵として日支兩國の協戮一致を必要とするものではあるまいか。吾人は支那側が一時の小策を弄し建設支那、永遠の大策を誤る如きことのなからんことを支那側に對して忠言せんと欲するものである。この意味よりして吾人は、わが外務省が三浦アジア第二課長を特派して大に眞相の調査研究に當らしめんとすることの有意義なるを思ふものである。而して同時に吾人は、この間島地方事件の解決に當り、わが當局が中央官憲もまた地方官憲も、すなはち外務省も出先外務省官憲も、または朝鮮總督府なども、步調を一にして根本的解決に向つて最善の努力を傾注されんことを希望せざるを得ない。從來、やゝもすれば對策の二途三途に出づるが如く思はしむるものゝあつたのは問題を眞に解決する所以ではないのである。而して支那の時局は、とにかくも一段落を告げ、南京の中央政權と奉天の東北政權とは協調を保ちつゝあるのである。この際、この間島地方の共產黨匪案件を根本的に中央政權と商議するも可なり、また當面の應急處置として地方的に東北政權と折衝するも可なり、いづれにしても紙上の抗議のみに滿足することなく抗議する以上は相手方を抗議に屈服せしむるだけの實力を以て眞劍に臨むの概がなくてはならぬと信ずる。然らずんば徒らに國家の威信を失墜するのみとなることを覺悟せねばならぬ。何は兎もあれ、殆んど年中の行事の如く、それからそれへと頻發する間島事案の根本的解決を期すべく、わが外務省當局の眞劍なる態度を示すに至つたことを認むると共に、吾人は支那官憲の事件解決のため誠意を披瀝せんことを希望すると共に、事件解決の先決問題たる間島地方共產黨匪事件なるものゝ眞相を最も明確に調査研究し政略的に事件の眞相を掩はんとするが如きことの苦肉手段に出でざらんことを支那地方出先官憲に望まざるを得ぬのである。

愈首相の裁決に待つ 明年度豫算案の難點

强硬な海軍補充計畫問題と新規要求復活交涉

【東京特電二十六日發】濱口總理始め政府主腦者は觀艦式陪觀のため西下しそれ等の主腦者が歸京する迄中央政界は無風狀態にあるわけであるが、歸京と同時に目下問題の一、海軍補充計畫問題、二、各省の新規要求復活交涉の二重要大案件に關する折衝が極めて緊張を帶びて來るものと觀られてゐる 其うち補充計畫問題に就ては既に財務當局の態度が極めて强硬である旨を小林海軍次官から神戶に於て安保海相に報告してその對策を考究しつゝあり、安保海相は既に就任當時前海相時代の論議紛糾に鑑み飽迄も補充計畫の完全なる實現を計つて部內の統一を强硬なる立場に置かれてあり、これに對して井上藏相は飽迄財源を唯一の論據として海軍側の要求を擊退せんとしこの點に關し濱口總理の諒解を求めつゝある、これに對する濱口總理の意向は減稅額をなるべく多額に獲得し得るよう期待しつゝも海、藏兩當局の圓滿なる協定を念願してゐる、かくて首相の立場、藏相の意向、海相の態度は本件に關する限り夫々特殊的性質を帶び來りつゝあるので愈々本案件が政治的解決への手段に訴へられることになれば極めて重要なる波紋を描き出すであらうと觀られてゐる、更に各省の新規要求復活に關聯して重要化せんとしつゝあるのは所謂道路公債問題であり、本案件は失業對策に關聯して考慮されてゐる、反面に於て財務當局が豫算查定に際し失業救濟關係の新規要求に對しても大斧鉞を加へたためにこれを補塡する意味に於て閣內においても相當考究されて居り、その追加豫算計上が實現されんとする模樣であるが、その經費三、四千萬圓の財源たる公債問題が却々重要案件となつてゐる何れにしても右二案件は十一月に入ると共に現政府の最高首腦部間に於て極めて白熱せる意見が交換されるであらう、これに對し濱口總理が果して如何なる形式內容によつて裁決するか極めて注目されることゝなつた

失業問題の對策は眞劍に考へてゐる

非募債主義に拘泥する要無し 安達內相の車中談

【東京特電廿五日發】安達內相、俵商相、渡邊法相は齋藤內務、小川大藏、横山商工各政務次官その他民政黨代議士多數と共に觀艦式陪觀のため二十四日午後九時二十五分東京驛發神戶へ向つたが安達內相は車中左の如く語つた

失業公債の發行のことは世間では色々と話題にしてゐるやうだが、二十四日の閣議には話は出なかつた、けれども失業狀況なるものを見ると必ずしも井上君のいふやうに緩和されてはならぬ、一時減じたが最近また工場勞働者の失業が幾分增加してゐる、從つて年末に近づくと共にこの對策をもつと眞劍に考へねばならぬと思ふ、自分としては今失業公債なるものを發行すべしといふことに決めてゐるのではないが今後暫くの情勢を見て充分考慮すべきものと思つてゐる、非募債主義といふ看板は決して何時までも拘泥する要があるわけではない、政治はあらゆる情勢を按じて熟慮斷行することが必要だ、いづれ歸つてからゆつくり考へるつもりだ

各植民地の豫算は拓務省で查定する

今年から豫算審議委員會を設けて 愈よ來週から着手か

【東京特電二十五日發】明年度の各植民地の特別會計豫算に對する要求概算書は去る八月末までに拓務省に提出することになつてゐたが、各會計とも例年の慣例で容易に期日までに纏まらず、二十七日關東廳會計の分の提出あるを初め、各植民地とも漸次提出をみるに至るべく、來週より拓務省ではこれに對し、その查定に着手することになつてゐるが、これにつき小村拓務次官は左の如く語る

拓務省では各植民地豫算の編成方針について本年から、その審議方針を變改し、本省に豫算審議委員會を設けて、合理的查定を行ふことにした、卽ち從來、各植民地豫算の查定は大藏省において詳細に審議し決定を行つてゐた關係上、拓務省が設置されてのち、各種の豫算查定に大藏省は從來の情勢によつて、必要以上の詳細な審議をなす習慣になつてゐた、然し各植民地會計と大藏省の關係は主として補充金及び公債の折衝に止むべきであり、各會計における各種の事項については拓務當局が審議決定すべきであるから、今後新に委員會の審議によつて查定を遂げ補充金、公債の二問題を除くほかは詳細に審議し**最後的**決定を行つてゐた**大藏省**の諒解を求むる程度にとゞめることにした、この委員會は別に職制を設けず、非公式のもので、事務次官たる自分を委員長とし、兩政務官、各局長、會計、文書、秘書の三課長を委員として組織してゐるが豫算に對する閣議決定機關として各種の審議も合理的に行ひ得ることゝ信じてゐる、委員會の成績は既に本年度の行政經濟化實行豫算案の作成の際、既に試み全部本省決定通り大藏省の**承認を**得たる前例もあるので明年度豫算審議においてもうまくゆくだらう

西山財務部長 豫算概要說明

【東京特電二十五日發】關東廳西山財務部長は二十五日拓務省に小村事務次官を訪問し、明年度關東廳特別會計豫算に關する概要を說明して辭去したが、右關東廳要求豫算は計數整理のうへ二十七日拓務省に提出することになつた

朝鮮の人件費五分天引き

一千萬圓の財源不足から三百萬圓を捻出する

【東京特電廿六日發】朝鮮總督府の明年度豫算は約一千萬圓の財源不足を來してゐるが、これが捻出につき財務當局の一方策として人件費五分の天引を決定したが、該案は直接の官吏減俸を意味するものではなく、六千萬圓の五分三百萬圓を人件費より節約せむとするもので明年度總督府地方廳ともに事務官以下の缺員を補充せざることゝし、明年度の年末賞與は四割乃至六割を減ずることゝし、尙三百萬圓に達せざる時は行政整理を行ふ模樣である

入院中の遞相 快方に向ふ

【東京廿五日發電通】先月廿九日來麴町內幸町の胃腸病院に入院中の小泉遞相は次第に快方に向ひ、昨今は體溫も平常に復し食慾も增り元氣も恢復し病床にて新聞雜誌を閱讀し時折室內を散步も出來る程度になり本月中には退院出來る見込である

滿洲粟輸入の制限は未定

內鮮米價對策協議會から 湯村總督府農務課長歸來談

【東京特電廿六日發】內鮮米價對策協議會に東上中であつた朝鮮總督府湯村農務課長は語る

內鮮米價對策協議會に出た序に大藏省と米價對策に基く低資融通について協議した、農業倉庫の規定の外一千萬圓要求は實現に時日を要するらしい、金融組合の低資も低資委員會の結果によるの他はない、何れにしても米價對策が根本的に決定の上であらう、滿洲粟輸入制限についても農林省は頗る强硬な主張をしてゐたが、愼重に考慮を要する大問題であるといふのである

大體四つの理由を述べておいたので大分緩和されたやうである

一、粟常食細民をして三圓の高い粟を食はすことになる
二、粟を常食とする慣習上急にやめられないこと
三、粟の輸入制限によつて總督府の關稅收入が減少すること
四、粟の輸入期は三、四、五月であるから時期の問題も考慮すること

尙總督府においても財務當局と協議決定する筈で、數量を制限するか、全然輸入を防止するかは未定であるが防止するといふことは恐らく不可能なことゝ思

豫算編成希望 政府に進言

與黨が意見を纏めて

【東京二十五日發電通】明年度豫算概算に對し民政黨は大體財界不況の今日、財界立て直し並に國際貸借改善のためかくの如き緊縮豫算はやむを得ぬところであるが、出來るならば確定の際左の如き與黨の意嚮を考慮されたいと希望してゐる

一、思ひ切つて今少し陸軍大整理を斷行して欲しい、軍政改革の結果も宇垣陸相の病氣等のため六年度豫算に計上し得ぬなら七年度豫算には實現すべき旨五十九議會にて聲明されたい
一、減稅は是非既定方針に基き最少一億六千五百萬圓（六年度千五百萬圓乃至千八百萬圓以上）二億圓程度の實現を期す
一、社會政策上救護法實施を復活されたい
一、土木工事費は失業救濟產業開發統制に關する上からも出來るだけ復活せしめたい
一、右復活が不可能ならば追加豫算を以つて財界に惡影響なき程度の土木公債を發行されたい

その他希望もあり黨の意見を纏めたうへ政府に進言する筈である

天津浦口間の列車直通せず

【天津特電廿五日發】天津、浦口間の直通列車は未だ開通するに至らない、東北軍は天津、德州間を運轉せしめて其收入を差押へて一方韓復榘氏は德州、韓莊間に頑張り南京政府の命令は僅に韓莊、浦口間にだけにしか及ばない、鐵道部では頻りに戰後の交通整理を宣傳して全線の收入を政府に收めやうとしてゐるが、東北軍及韓復榘氏が承諾しそうにも見えないので鐵道は當分三段に區別されて運轉するより他に方法がない、蔣介石氏は之にかんがみ韓復榘氏を安徽へ轉任せしめやうとしてゐる

條約記念の放送時間決る

紐育のスタヂオの紹介で濱口首相が第一聲を

【東京廿五日發電通】日、英、米三首相、大統領の軍縮條約記念放送時間は廿五日左の如く確定した

▲濱口首相…… 二十七日午後十一時五十分より十分間、愛宕山放送局より放送
▲フーバー大統領…… 日本時間二十八日午前零時三分より十分間、ホワイトハウスより放送
▲マクドナルド首相 日本時間二十八日午前零時十四分より十分間、英國首相官邸より
▲松平駐英大使 日本時間二十八日午前零時二十五分より十分間英國首相官邸より放送

なほ當日放送開始時刻に至るやニユーヨークのスタヂオから「只今より日本首相濱口雄幸氏を紹介する光榮を有し氏は東京より直接お話されます」と紹介すれば、濱口首相は直に放送を開始する手筈で、濱口首相の放送終るや日本側から「日本首相濱口雄幸の東京よりの諸君に對するお話は只今御聞きの通りでした、只今よりアメリカのニユーヨーク市の方に替へます」と述べて切替へを終り間もなくフーバー大統領の演說に移るわけである

東北に直屬して石軍は中央歸順

滯奉中の石友三氏と張學良氏の重要協議

石友三氏は既報の如く廿四日來奉萬福麟氏宅に賓宿し張學良氏は軍事廳長榮臻氏等を接伴員として懇歡に款待し廿五日張氏は石氏を引見し石氏部下軍隊の東北歸屬に關する重要協議を遂げたがその內容は尙不明なるも

雜色軍 中の二大勢力で韓氏とは數年來同一步調を執つてゐたが過般の戰爭には韓氏が中央派たりしに拘らず石氏は閻馮兩氏に加擔し反蔣派の有力軍と目せられてゐたが反蔣派の瓦解と共に石氏の立場は困難となり張學良氏の支配に服して間接に中央に歸順する態度を示すに至つた、石氏は現在尙ほ七萬の大兵を擁し目下平漢線の彰德、新鄉間に駐屯して居り卽ち平漢線の東北軍と聯接してゐる、張學良氏としては石氏とは數ケ月前から相當の聯絡あり今七萬の同軍を收容することは軍費支給、駐防地點等に相當の**困難は**あつても東北側の勢力をそれだけ增大することになるから相當の犧牲を拂つても石軍を抱擁する意思あり大體同軍の東北直屬は實現するものと觀られてゐる

南京側に於ては石友三氏は東北軍と協同して山西攻略に當ると宣傳して居り過日石軍が石家莊方面に於て山西軍の一部隊の武裝を解除した事實もあるが石友三氏と[illegible]兩氏等とは今尙相當の聯絡ある模樣であつて殊に鹿鍾麟氏とは密接なる諒解があると傳へられ今後石友三氏の存在は東北と中央反蔣派との三角關係に介在して相當重要なる地位を占むるであらうと觀られてゐる（奉天電話）

內務省土木事業費全部削除の憂目

結局一部公債による外なしか

【東京廿五日發電通】內務省土木事業費は新規事項は勿論全部削除既定經費においても總計千二百七十萬三千圓といふ大斧鉞を加へられて居り、この削減額の半分を勞力費と見れば一年に延人員約四百五十萬人、一日平均一萬二千餘人の失業者を產み出すことゝなり、且つ事業施行上からいつても殆ど大部分は工事中止同樣となり地方產業開發に多大の打擊をあたへるのみならず工事用器具機械を遊ばせる不經濟あり、內務省は廿五日土木局議を開き約八百萬圓の復活要求を行ふ事となつた、政府は地方負擔を繰上げてもこれを實行せんとして居るが結局その一部は公債財源による外なしと觀られて居る

全滿司法官會議

廿五日で滯なく終了す 辯護士會提案大體希望に副ふ

全滿司法官會議最終日たる二十五日は午前十時より開會、土屋法院長議長席につき民事問題に就て協議を重ね午後五時ごろ漸く散會した、因に廿四日に於ける關東州辯護士會提案の議案はいづれも法院としてその希望に應ずべき意嚮なる旨を述べた模樣にて、そのうち官制を改正する事項または經費の膨脹を來すものは目下のところ實現困難の模樣である

電信電話 半官民營業

明年度豫算の間に合はない

【東京廿五日發電通】電信、電話半官民營案につき井上藏相、河田次官、勝參與官、藤井主計局長は廿五日午前十時より藏相官邸において中野、今井田兩遞信次官、大橋經理局長と會見、約三時間に亘り案の內容につき說明を聽取したが、成案を得るまでには尙一、二月を要し政府の現物出資評價方法も決定してゐないので到底明年度豫算に間に合はぬ事が判明した

地場生產業者 市場問題協議

大連中央卸賣市場問題に關する對策協議のため地場生產業者は廿五日午前十一時から中央公園保健浴場において懇談會を開催、當業者約三十名のほか大連農事株式會社の栃內專務、同千葉常務、大連民政署の田中地方課長、寺山同殖產係主任出席し、目下大連市當局において重大懸案となれる中央卸賣市場の經營方法に關し生產者側として執るべき態度につき色々協議を重ねたが、市當局、關東廳に對する意見の開陳は委員會において各方面と折衝決定の上これをなすことゝし同午後三時散會した、尙當日選ばれた七名の委員は粟屋、油井、平野、櫻井、劉先治、太田、矢田部の諸氏である

支那側吉林省に製紙會社を計畫

來春早々工場を建設

張學良氏は東北文化の進運に伴ひ洋紙の需要は年々增大し而も支那に大規模の製紙會社無く全部を外國品の供給に仰ぐを遺憾とし今回張氏自身發起して資本金大洋二百萬元を以て一大製紙會社を創立すべく準備中であつたが、最近既に具體化し工場を松花江上流の吉林省樺甸縣に設置し、松花江の水力を利用して發電所を設け動力に充つる計畫で既に米國留學出身の製紙專門家金溶氏を技師長に任命し且工場建設の一切を遼寧省政府建設廳長彭志雲氏に依託したので彭氏は發電所、工場等の測量設計準備のため北水利委員會技師周鵬氏外二名に命じ周氏等は去る二十二日金氏と同道瀋海線總出樺甸に向つた、測量期限は二ケ月でその結果同地が水力電氣に適當と決定すれば來春解氷期を待つて工場建設に着手する豫定であると【奉天電話】

吳鐵城氏と張繼氏來奉 學良氏と協議

吳鐵城氏は張繼氏と共に二十五日夜北寧線で北平より來奉した、張學良氏に平津地方の狀況を報告し且つ黨部問題につき協議したのち五六日內に二氏同伴して南京に歸る筈

英國經濟使節 豐紡工場視察

【東京二十六日發電通】英國經濟使節一行は三十日來朝の豫定であるが、一行中の紡績關係者等は來月十二日愛知縣下豐田紡工場を視察する事となつた 同工場は豐田式自働紡織機を使用して居り同機に依る時は女工一人當り五十臺を運轉し得る高度の能率を發揮し得て一行の注目を惹く事は明かである

副總裁を交へ滿鐵重役會議

二十五日歸任した滿鐵大平副總裁は上陸後星ケ浦に仙石總裁を訪問歸連の挨拶をなしたうへ滯京中の諸問題について種々報告、更に大藏理事の病氣見舞をなし午後二時出社したが、仙石總裁は副總裁の出社を待ち受け直に總裁室にて重役會議を開催同四時二十分終了した、會議の內容は勿論窺知するを得ないが正副總裁のほか全理事（大藏理事のみ病缺）だけの會議であつたゝめ副總裁の上京中に於ける各種の問題に對する報告的會議らしく觀測されてゐる

露支會議と白系取締り問題（上）

哈府議定第四條に關する要求と言分と駈引

哈府議定第四條の在支白系ロシヤ人取締に關し支那當局はこれを完全に履行してならぬからとの理由でカラハン氏が嚴重抗議したため露支正式會議は遂にデッドロックにのり上げたとモスクワ電は傳へ、莫德惠全權はこれがためレーニングラードからドイツを歷遊するとか、或は再開の餘地なしとして斷然決裂の態度に歸國するとの報道があり、露支正式會議の前途はいづれにしても——共れが一時的か又は永久的かは知らぬが——樂觀のできない狀勢に導かれて行つたことは事實に近い

◇

が、果してモスクワ電の如く哈府議定書の有する效力承認の可否によつてのみ將に將に露支國交を恢復せんとする圓滿なる大局にまで龜裂を生ぜしめブチ壞されねばならぬものであるかは疑問である、それ程白系ロシヤ人の勢力をソウエート聯邦として脅威せねばならぬ實質力を彼等がもつてゐるかどうかゞ一つの問題である、或ソウエートの幹部は白系露人について「ジテリックス、ホールワット、ミルレル等々の將軍連も既に落剝を搜す老年者である、今更それらの人々を支那から驅逐しても、又せなくとも自然が彼等を解決し墓穴を掘ることになるのだから白派の首領が有する勢力などは問題ぢやない」と

◇

これは至言である、自然が人間の生命を解決するのだから特に哈府議定書に條項として明記された白系ロシヤ人を取締ることを更に要求して露支の國交に惡印象を作らればならぬ程の重要問題ではないのである、それを賢明なるカラハン氏が決裂をも辭しない決意をもつて强調しそのため再び不自然なる露支兩國が東支鐵道を一緒として步んでゐることは兩國の損失である筈だ

◇

「東北政權はいふ「今更古い警文を引つ張り出していがみ合はなくともよい、哈府議定書は調印と同時に其條項を支那は遵守して來たのだから東支も原狀に恢復しソウエート各機關は既に露支紛爭前に還元してゐる、白系團體の武裝解除なんて今のところない、東支沿線のパルチザンがソウエート從業員を襲ふに對しては嚴重警戒してゐる、何處に哈府議定書の效力を承認せず、かつ蹂躪してゐる點があるか？ソウエート政府が常に白系問題を云々して露支國交の圓滑なる進行に故意に障害を與へんとするのは敵は本能寺にあり白系は備中の種に使はれてゐる口實に過ぎない、ソウエートの現有勢力をもつて在支白系を恐怖してゐるやうなことはありうべからざることである、カラハン氏はこれによつて露支全般的國交恢復の條件を有利に轉換せしめやうとする一種の策略に用ゐてゐるのであつて、ソウエート政府の不利なる場合は白系問題を主題に引つ張り出して時局に交涉をも決裂に導き、其の不誠意は歸するところ支那にありとする外交的手段に利用されてゐるのである」と支那側は觀してゐる【哈爾濱特信】

安樂椅子

ハルピンの夜を毒飾するレストランの營業時間は今回午前五時までと改められた▲冬籠りの北滿旅館はこれによつて滿喫させやうといふ警察側の思ひ遣りではない▲實はかうした娛樂場に集まるものは中產有階級だからそれから利益を得て營業してゐる彼等にできるだけの稅金をかけやうとするためである▲それで甲種は百元、乙種は七十元、丙は五十元、丁は三十元といづれも三割方値上げされた▲その代り二時間延長による時間稅は廢止された【ハルビン發】

購讀料値下社告

時代の趨勢と讀者奉仕の微意により大連新聞、滿洲日報の兩社は十一月一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ

一ケ月 金一圓二十錢

に改訂致候條此段謹告候也 尙日曜夕刊を休刊致候に付き併せて御諒承願上候

昭和五年十月二十七日

大連新聞社
滿洲日報社